

令和元年度事業報告書
付属明細書

目 次

1	県民の生活課題の解決	
(1)	生活課題を抱える住民の支援	1
(2)	住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援	11
(3)	民生委員・児童委員の活動支援	13
(4)	東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備	15
2	住民の福祉活動の振興	
(1)	ボランティア活動の振興と福祉教育の推進	20
(2)	情報発信機能の強化	23
3	福祉人材の養成と確保	
(1)	福祉人材の養成とスキルアップ支援	23
(2)	福祉人材の確保とマッチングの強化	25
(3)	退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実	29
4	社会福祉事業経営の支援	
(1)	社会福祉事業経営の支援	32
(2)	適正なサービス評価の実施	37
5	多様な組織等との連携協働	
(1)	種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組と サービス利用者の福祉増進	37
(2)	多様な組織等との連携協働の推進	46
6	指定管理施設の管理運営	
(1)	ふれあいランド岩手の管理運営	54
7	県社協の活動基盤の強化	
(1)	県社協財政基盤の適正化	56
(2)	組織強化のための取組の推進	56
8	会務の運営	
(1)	理事会の開催	56
(2)	評議員会の開催	57
(3)	監事等による監査の実施	57
9	その他	
(1)	岩手県社会福祉大会の開催	58

1 県民の生活課題の解決

(1) 生活課題を抱える住民の支援

① 社協・生活支援活動強化方針推進事業 [地域福祉企画部]

研究会の開催

ア 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：10月28日、29日、ケアセンター南昌、18人

内容：生活困窮者自立支援法改正に対応した支援のポイント

中間的就労の取組報告

総合的かつ包括的な支援とは何か

～個人、家族、地域社会をとらえたソーシャルワークの展開～

グループスーパービジョン

イ コミュニティソーシャルワーク研究会

<第1回> 日本地域福祉学会東北部会 岩手県地域福祉実践セミナーと共催

期日、会場、参加者：9月20日、アイーナ、37人

内容：地域の生活課題から新たな実践を生み出すために

実践報告

<第2回> 期日、会場、参加者：10月25日、紫波町総合福祉センター、26人

内容：地域福祉活動実践報告、演習（地域の強みと生活課題を探る SWOT 分析）

<第3回> 地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会と共催

期日、会場、参加者：1月28日、アートホテル盛岡、26人

内容：地域アセスメント手法と個別課題の普遍化

取組報告

ウ 市町村社協中期経営計画策定推進委員会

<第1回> 期日、会場：8月7日、岩手県立大学

内容：中期経営計画の策定、県内の事例、マニュアル（ガイドライン）骨子等

<第2回> 期日、会場：1月8日、岩手県立大学アイーナキャンパス

内容：ガイドライン策定に係る方針、中期経営計画策定ガイドライン骨子（案）

及び考え方、中期経営計画策定推進セミナーの企画

エ 第26回地域福祉実践研究セミナーin 岩手・はなまき開催準備

<第1回> 期日、会場：6月4日、花巻市社会福祉協議会

<第2回> 期日、会場：7月31日、ケアセンター南昌

<第3回> 期日、会場：11月6日、アイーナ

オ いわて“おげんき”みまもりシステム管理運営事業

(ア) ICT技術を活用した安否確認システムの導入推進

[令和元年度見守りセンター設置社協等] 27市町村社協、34センター

盛岡市、宮古市（川井）、大船渡市、花巻市（本所・石鳥谷・東和・大迫）、北上市、久慈市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市（本所・浄法寺）、八幡平市、奥州市（江刺）、雫石町、岩手町、滝沢市、紫波町、矢巾町、西和賀町、平泉町、住田町、大槌町、山田

町、軽米町、野田村、九戸村、洋野町（本所・大野）、一戸町、流通センター不動産、岩手県

(イ) システム登録者数

1,224人（うち実利用者数 292人）

(ウ) システム運用定例会議の開催（システム開発企業イワテシガ株・県社協）

開催日、会場：4月3日、5月8日、6月5日、7月2日、8月5日、9月4日、10月2日、11月8日、12月4日、1月7日、2月5日、3月4日 ふれあいランド岩手

② 岩手県福祉コミュニティサポートセンター事業 [地域福祉企画部]

ア 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の養成と資質向上

(ア) 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修会

期日、会場、参加者：前期 7月30日、31日、ケアセンター南昌、36人

後期 11月5日、6日、ふれあいランド岩手、36人※修了者

内容：コミュニティソーシャルワークの基本概念、個別課題・地域課題へのアセスメント、地域共通ニーズの抽出、プランニングに関する講義及び演習

(イ) 地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修 提出課題勉強会

期日、会場、参加者：9月12日、ふれあいランド岩手、14人

内容：地域福祉活動コーディネーター（CSW）養成研修受講者が各自作成したプランニングの意見交換

(ウ) 地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会（活動報告会）

期日、会場、参加者：1月28日、29日、アートホテル盛岡、36人

内容：「地域アセスメント手法と個別課題の普遍化」大正大学 教授 神山裕美氏 事例検討「個別事例から社会資源のプランニングをしてみよう」

イ 地域福祉活動コーディネーター（CSW）の実践に係る地域アセスメント手法の習得

(ア) 支え合いマップ・インストラクター養成講座

【山田会場】

期日、会場、参加者：第1回 6月17日、18日、山田町保健センター、30人

第2回 7月10日、11日、山田町保健センター、30人

第3回 1月22日、山田町保健センター、27人※修了者

【宮古会場】

期日、会場、参加者：第1回 6月19日、20日、宮古市民総合体育館、22人

第2回 7月4日、5日、イーストピアみやこ、23人

第3回 1月21日、宮古市総合福祉センター、20人※修了者

内容：支え合いマップの基礎知識の講義、支え合いマップづくり実践に向けた演習、演習結果を基にした地域の生活課題及び解決策の整理等に係る意見交換

(イ) 支え合いマップを活用した取組検討会

期日、会場、参加者：1月20日、イーストピアみやこ、68人

内容：住民参加型事例発表、実践者事例発表、シンポジウム

ウ 福祉コミュニティの確立に向けた体制づくりの支援

(ア) 福祉コミュニティサポートアドバイザー派遣

a 軽米町社会福祉協議会

実施日：7月17日、10月7日、2月10日

支援内容：軽米町地域福祉活動計画策定への助言

b 住田町社会福祉協議会

実施日：8月5日、10月28日、1月27日

支援内容：第2期地域福祉活動計画策定委員会への助言

c 九戸村地域包括支援センター

実施日：8月30日

支援内容：支え合いマップ勉強会の講師

③ 市町村社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 研究会の開催（再掲）

(ア) 生活困窮者支援研究会

期日、会場、参加者：10月28日、29日、ケアセンター南昌、18人

内容：生活困窮者自立支援法改正に対応した支援のポイント

中間的就労の取組報告

総合的かつ包括的な支援とは何か

～個人、家族、地域社会をとらえたソーシャルワークの展開～

グループスーパービジョン

(イ) コミュニティソーシャルワーク研究会

<第1回> 日本地域福祉学会東北部会 岩手県地域福祉実践セミナーと共催

期日、会場、参加者：9月20日、アイーナ、37人

内容：地域の生活課題から新たな実践を生み出すために

実践報告

<第2回> 期日、会場、参加者：10月25日、紫波町総合福祉センター、26人

内容：地域福祉活動実践報告、演習（地域の強みと生活課題を探る SWOT 分析）

<第3回> 地域福祉活動コーディネーター（CSW）継続研修会と共催

期日、会場、参加者：1月28日、アートホテル盛岡、26人

内容：地域アセスメント手法と個別課題の普遍化

取組報告

(ウ) 市町村社協中期経営計画策定推進委員会

<第1回> 期日、会場：8月7日、岩手県立大学

内容：中期経営計画の策定、県内の事例、マニュアル（ガイドライン）骨子等

<第2回> 期日、会場：1月8日、岩手県立大学アイーナキャンパス

内容：ガイドライン策定に係る方針等

イ 懇談会の開催

(ア) 岩手県保健福祉部と市町村社会福祉協議会部会との懇談会

期日、会場、参加者：1月17日、北ホテル、社協6人、県保健福祉部9人
内容：市町村社会福祉協議会の取組に係る要望（6項目）

(イ) 市町村社会福祉協議会会長懇談会

期日、会場、参加者：7月22日、23日、ホテル大観、32社協59人
内容：基調報告、説明、分散会

ウ 役職員研修会の開催

(ア) 市町村社協基礎研修

期日、会場、参加者：5月20日、21日、ふれあいランド岩手、17社協、36人
内容：講演、社会福祉協議会の基礎知識に関する説明、先輩職員による活動事例紹介等

(イ) 地域福祉活動先進地視察研修

期日、視察先、参加者：8月21日～23日、高知県南国市社会福祉協議会、高知県大豊町
社会福祉協議会、12社協、20人

内容：あったかふれあいセンター事業、社協の経営基盤強化に向けた取組等

(ウ) 地域福祉推進トップセミナー

期日、会場、参加者：2月7日、ホテルニューカーリーナ、127人
内容：講演「社会福祉法人の連携・協働による地域における公益的な取組について」、活
動実践

(エ) 市町村社協中期経営計画策定推進セミナー

期日、会場、参加者：2月6日、ホテルニューカーリーナ、56人
内容：講演「市町村社協中期経営計画策定のポイント」「役職員が一丸となって取り組ん
だ組織の経営改善」、シンポジウム

エ 事務局長・地域福祉担当課長会議の開催

期日、会場、参加者：7月1日、2日、ふれあいランド岩手、1日12人、2日54人
内容：説明、参加者相互の情報交換、講演「社会福祉法人の中長期経営計画と人材確保・育
成について」、県内市町村社協の取組報告等

オ 災害対応

(ア) 災害時相互支援協定の締結

(イ) 県内市町村社協職員の災害対応初動チームの編成

登録者数：30社協48人

(ウ) 台風第19号対応

<現地情報共有会議>10月18日（久慈、宮古、釜石圏域）

<振り返り会議>期日、会場、参加者：1月15日、マリオス、25社協28人
内容：報告、復旧・復興支援活動の振り返り

④ 生活福祉資金貸付事業 [地域福祉企画部]

ア 貸付実績及び償還実績

低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、経済的自立や生活意欲の助長等を図り、より安
定した生活を送るため、必要な資金の貸付けと相談支援を行った。

事業の推進に当たっては、平成27年4月に生活困窮者自立支援制度が施行されたことを踏

まえ、自立相談支援機関、市町村社協、関係機関等と連携した相談・支援を行い、県民の自立生活の助長に向けた取組を進めた。

(ア) 生活福祉資金貸付事業

a 総合支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 1,150 件、貸付中金額は 506,044 千円。最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は 232 件 (20.2%)。

【令和元年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	20 件	20 件
金 額	4,161 千円	4,161 千円

(うち自立相談支援事業と連携した貸付 20 件)

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
生活支援費	13 件	3,360 千円
住宅入居費	3 件	373 千円
一時生活再建費	4 件	428 千円
合 計	20 件	4,161 千円

(b) 償還実績

償還金は 27,550 千円、対前年度比 971 千円減、償還完了件数は 52 件。償還率は年度合計 9.3%で、対前年度比 0.9%減。

b 福祉資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 2,691 件、貸付中金額は 622,067 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 1,658 件 (61.6%)。

【令和元年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	345 件	342 件
金 額	83,656 千円	83,306 千円

(うち自立相談支援事業と連携した貸付 88 件)

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
福祉資金	107 件	59,486 千円
緊急小口資金	235 件	23,820 千円
合 計	342 件	83,306 千円

※上記緊急小口資金には、新型コロナウイルス関連等の特例貸付 74 件、11,646 千円を含む

(b) 償還実績

償還金は 82,379 千円、対前年度比 5,547 千円減、償還完了件数は 324 件。償還率は年度合計 25.6%で、対前年度比 1.4%減。

c 教育支援資金

(a) 貸付実績

年度末の貸付中件数は 7,049 件、貸付中金額は 4,954,770 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 377 件 (5.3%)。

【令和元年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	449 件	416 件
金 額	351,091 千円	326,599 千円

(うち自立相談支援事業と連携した貸付 3 件)

【貸付決定資金種内訳】

資金種	件 数	金 額
教育支援費	221 件	252,870 千円
就学支度費	195 件	73,729 千円
合 計	416 件	326,599 千円

(b) 償還実績

償還金は 300,490 千円、対前年度比 14,413 千円増、償還完了件数は 208 件。償還率は年度合計 51.1%で、対前年度比 1.8%減。

d 不動産担保型生活資金

令和元年度の新規貸付決定は 1 件 4,060 千円。(要保護世帯向け)

貸付中債権の状況は次のとおり。

資金種	貸付中件数	貸付限度額の合計	備考
一般	6 件	69,202 千円	平成 14 年度創設
要保護世帯向け	46 件	227,325 千円	平成 19 年度創設
合 計	52 件	296,527 千円	

(イ) 離職者支援資金貸付事業(平成 12 年度創設／平成 21 年 9 月廃止)

a 貸付実績

年度末の貸付中件数は 23 件、貸付中金額は 12,180 千円。最終償還期限が到来しているが償還完了していない件数は 23 件 (100%)。

b 償還実績

償還金は 1,432 千円、対前年度比 536 千円減、償還完了件数は 4 件。償還率は年度合計 9.7%で、対前年度比 2.0%減。

(ウ) 臨時特例つなぎ資金貸付事業(平成 21 年度創設)

a 貸付実績

年度末の貸付中件数は 7 件、貸付中金額は 387 千円。最終償還期限が到来しているが償還が完了していない件数は 7 件 (100%)。

【令和元年度の申請及び貸付決定状況】

区 分	申 請	決 定
件 数	1 件	1 件

金額	30 千円	30 千円
----	-------	-------

b 償還実績

償還金は 30 千円、対前年度比 30 千円減、償還完了件数は 1 件。償還率は年度合計 7.19% で、対前年度比 7.19%増。

イ 事業運営

(ア) 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

a 新任者研修

期日、会場、参加者：5 月 23 日、ふれあいランド岩手、27 人

内容：制度説明及び相談支援の知識・技術向上を目的とする実践発表等

b 現任者研修

期日、会場、参加者：6 月 20 日、21 日、ふれあいランド岩手、61 人

内容：生活福祉資金貸付と生活困窮者自立相談支援機関が連携した事例検討及び制度説明、相談支援の知識・技術向上を目的とする講義等

(イ) 償還指導の実施及び債権管理

a 償還指導の実施

4 か月以上の滞納者等に対する個別面接を行った。

- ・ 償還指導実施市町村社協数 25 市町村社協
- ・ 状況確認延べ件数 434 件

b 償還免除、償還猶予

- ・ 償還免除決定件数 43 件（借受人の自己破産や時効、償還困難による）
- ・ 償還猶予決定件数 92 件（借受人の進学や留年、償還困難等による）

(ウ) 生活福祉資金相談員の配置

24 市町村社協 26.5 人、県社協 2 人（計 28.5 人）

(エ) 貸付審査等運営委員会の開催

- ・ 生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催

本委員会 開催 1 回

小委員会 開催 2 回

(オ) 県民への広報活動

制度周知のため、全体版パンフレット・教育支援資金リーフレットを作成し、関係機関、関係団体へ配布した。教育支援資金リーフレットは、中学校、高等学校、大学、専門学校等教育機関へも配布した。

⑤ 福祉人材確保等貸付事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 介護福祉士修学資金等貸付事業

介護福祉士及び社会福祉士等の人材の養成と確保を目的とした貸付け、介護職として一定の知識及び経験を有する者が再就職するための準備に必要な費用の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和元年度		備考
	新規貸付数	貸付金額	

介護福祉士（社会福祉士）修学資金	62人	95,591千円	
介護福祉士県内養成施設	56人	91,341千円	
県内養成施設	50人	81,421千円	うち生活費加算2人
県外養成施設	6人	9,920千円	
社会福祉士県内養成施設	6人	4,250千円	
介護福祉士実務者研修受講資金	71人	10,577千円	
再就職準備金	5人	1,800千円	
合 計	138人	107,968千円	

(イ) 貸付状況（令和2年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
介護福祉士（社会福祉士）修学資金	232人	124人	—	184人	20人	41人	601人
介護福祉士実務者研修受講資金	125人	71人	9人	3人	2人	12人	222人
再就職準備金	11人	—	—	5人	—	1人	17人

イ 保育士修学資金貸付等事業

岩手県で保育士業務に従事する者の養成・確保や、保育士の就職・就労支援を図るため、保育士修学資金のほか、保育所等への就職準備及び未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業の利用料金貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

貸付金の種類	令和元年度	
	貸付数	貸付金額
保育士修学資金	25人	40,000千円
県内養成施設	21人	34,200千円
県外養成施設	4人	5,800千円
就職準備金	2人	630千円
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	—
合 計	27人	40,630千円

(イ) 貸付状況（令和2年3月現在）

貸付金の種類	猶予中	貸付中	未交付	免除者	返還中	返還済	計
保育士修学資金	16人	47人	—	—	2人	1人	66人
就職準備金	1人	—	1人	4人	—	—	6人
未就学児を持つ保育士の子どもの預かり支援事業利用料金の一部貸付	—	1人	—	0人	0人	0人	1人

ウ ひとり親家庭高等職業訓練促進支援資金貸付事業

ひとり親家庭の安定した就労による自立を促進するため、高等職業訓練促進給付金受給者を対象に、養成機関への入学準備金及び資格取得した場合の就職準備金の貸付けを実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種類	令和元年度	
	貸付数	貸付金額
入学準備金	3人	1,500千円
就職準備金	2人	400千円
計	5人	1,900千円

(イ) 貸付状況 (令和2年3月現在)

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
16人	5人	—	0人	2人	23人

エ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業

児童養護施設等入所中又は里親等へ委託中の者及び児童養護施設等を退所した者又は里親等への委託が解除された者に対する貸付けを実施。主な内容は、大学等に在学する者に対する生活支援費の貸付け、就職者に対する生活支援費及び家賃支援費の貸付け、就職に向けて資格の取得を希望する者に対する資格取得支援費の貸付けの実施。

(ア) 新規貸付決定状況

種類	令和元年度		
	貸付件数	貸付金額	実人数
生活支援費	3件	4,200千円	家賃+生活 3人
家賃支援費	5件	4,079千円	家賃+資格 1人
資格取得支援費	1件	193千円	家賃のみ 1人
計	9件	8,472千円	5人

(イ) 貸付状況 (令和2年3月現在)

猶予中	貸付中	免除者	返還中	返還済	計
7人	10人	—	2人	1人	20人

⑥ I W A T E あんしんサポート事業 [福祉経営支援部]

ア 組織の状況

参画法人	82法人
あんしんサポート相談員	225人
特別会費 (拠出金額)	4,490,000円

イ 活動状況

- (ア) 生活困窮世帯等への支援 129件
(イ) 中間的就労の場「就労準備ボランティア」の実施 11法人、体験者数 9人
(ウ) 子どもの居場所「フリースペース」の実施 3法人、利用者数 202人

ウ 研修の実施

(ア) あんしんサポート相談員養成研修

- <第1回> 期日、会場、参加者：7月1日、岩手保健医療大学、34人
<第2回> 期日、会場、参加者：2月6日、アイーナ、20人

(イ) 生活困窮者支援研修会

期日、会場、参加者：11月16日、マリオス、57人

エ 市町村社協等関係機関とのネットワーク会議（情報交換会）

期日	開催場所	主催
11月29日	花巻市	石鳥谷会
7月12日	一関市	つくし会
10月8日	雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町	県社協
2月26日	二戸市	県社協
10月7日	宮古市	若竹会

オ 会務の運営

(ア) IWATE・あんしんサポート事業運営委員会

期日、会場：9月20日、岩手県民会館

(イ) IWATE・あんしんサポート事業連絡会議（県保健福祉部四課との情報交換）

期日、会場：2月12日、岩手県水産会館

⑦ 盛岡圏域生活困窮者自立相談支援事業 [地域福祉企画部]

ア 相談件数等

新規相談	303件
自立プラン作成	54件
家計プラン作成	17件
就労・増収率	70%

イ 支援調整会議の開催

会場：県央5町（雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町）の社協、町役場会議室等
内容：自立支援プランの適切性及び終結評価等の協議

出席者：盛岡広域振興局保健福祉環境部保護課、各町生活保護担当課、地域包括支援センター、障害者地域生活支援センター、ハローワーク、社会福祉法人、弁護士、町社協、県社協等（ケースに応じて随時関係機関の参集範囲を変更）

期日：雫石町 9月18日、10月30日、2月26日

葛巻町 7月1日、12月20日、2月27日

岩手町 4月18日、8月7日、10月3日、1月24日

紫波町 4月22日、5月20日、6月17日、7月16日、8月19日、9月17日、
10月21日、11月18日、12月16日、1月20日、2月17日 ※3月中止

矢巾町 5月8日、6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日、11月5日、
12月9日、1月7日、2月3日、3月2日

ウ その他

支援調整会議と併せて開催される会議

- ・矢巾町自殺予防ネットワーク会議・多機関連携ネットワーク会議
- ・紫波町自殺予防ネットワーク会議

⑧ 障がい者不利益取扱解消支援事業 [地域福祉企画部]

- ア 障がい者不利益取扱い相談窓口設置運営事業
 - ・相談実績：1件（電話受付：盛岡市）
- イ 障がい者不利益取扱い相談窓口職員研修事業
 - ・期日、会場、参加者：9月24日、アートホテル盛岡、61人
 - ・内容：不利益な取扱いに対する相談対応の概要、事例に係る説明、講演及び演習

(2) 住民の権利擁護と福祉サービスの利用支援

① 日常生活自立支援事業 [地域福祉企画部]

県内12基幹社協に専門員19人、生活支援員195人を配置し、認知症高齢者等、判断能力の低下した方に対する援助を実施。

【実利用者数】令和2年3月31日現在

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
319人	289人	348人	25人	981人

- ア 契約締結審査会の開催
 - 回数、会場、参加者：年11回、県民生活センター、委員6人及び基幹社協専門員等
- イ 専門員情報交換会
 - 期日、会場：毎月契約締結審査会後に開催（3月は中止）、県民生活センター
 - 参加対象者：専門員等24人
 - テーマ：事業説明、研修会、事例検討会、各地域における支援の実施状況の共有等
- ウ 定期業務点検
 - 期間、訪問先：7月～12月、利用者ケースのある全市町村社協（支所、支部、事務所等を含む）
 - 点検内容：日常的金銭管理の状況、個別ケース検討等
- エ 事業説明等（県社協対応分）
 - 運営監視小委員会、高齢者・障がい者なんでも110番、県高齢者権利擁護ネットワーク会議、各基幹社協関係機関連絡会議等

② 権利擁護人材育成事業 [地域福祉企画部]

- ア 研修会
 - (ア) 新任専門員研修会
 - 期日、会場、参加者：5月17日、ふれあいランド岩手、12人
 - 内容：説明／日常生活自立支援事業の概要／初期相談から契約・解約までの実務等
 - (イ) 新任生活支援員研修会
 - 期日、会場、参加者：6月7日、ふれあいランド岩手、43人
 - 内容：説明／事業概要と実務、講義／利用者特性と関わり方のポイント／実践報告
 - (ウ) 専門員研修会
 - 期日、会場、参加者：8月20日、21日、エスポワールいわて、25人
 - 内容：講義／権利擁護制度の運用におけるアセスメント／事例検討等
 - (エ) 専門員・生活支援員研修会

期日、会場、参加者：10月8日、アートホテル盛岡、78人

内容：講義／消費者問題とその対策方法について／利用者支援のポイント、事例検討

③ 成年後見地域ネットワーク構築等支援事業 [地域福祉企画部]

ア 成年後見コーディネーターの取組（12基幹社協に0.5人ずつ配置）

日常生活自立支援事業利用者等に対する成年後見制度利用支援実績

支援者数：42人

【内訳】利用開始23人（うち日自利用者20人）、他機関支援引継ぎ3人、取下げ16人

イ 先進地視察研修

期日、会場、参加者：11月28日、29日、千葉県浦安市社会福祉協議会及び鴨川市社会福祉協議会、15人

内容：日常生活自立支援事業及び成年後見制度の取組、日常生活自立支援事業及び成年後見制度の一体的な取組、権利擁護事業に係る課題及び課題対応に向けた工夫

ウ 全県を対象とした岩手県成年後見制度利用促進ネットワーク会議の開催への協力（県主催）

期日、会場、参加者：1月23日、岩手県水産会館、委員22人、傍聴者（家裁、市町村、市町村社協及びNPO法人等）49人

④ 成年後見制度利用促進研修事業 [地域福祉企画部]

成年後見制度利用促進フォーラムの開催（県主催、県社協実施主体）

期日、会場、参加者：9月2日、ホテルシティプラザ北上、210人

内容：説明、講義／県内及び全国的な成年後見制度利用促進に係る取組状況、シンポジウム／制度利用支援及び体制整備について

⑤ 福祉サービス苦情解決事業 [福祉サービス運営適正化委員会]

ア 苦情解決小委員会の開催

委員数・開催回数：委員6人 計7回開催

内容：苦情受付状況報告、苦情案件対応協議、巡回訪問・情報交換会実施報告

イ 苦情を考えるセミナーの開催

期日、会場、参加者：6月11日、アイーナ、281人

内容：サービスの質の向上に関する講演、事業所の苦情解決に向けた取組紹介

ウ 福祉サービス苦情解決情報交換会（基礎研修）の開催

開催回数・参加者数：計10回、293人（県内各地で開催）

内容：苦情解決の仕組み、各事業所の苦情事例、対応等に関する情報交換

エ 福祉サービス苦情解決情報交換会（応用研修）の開催

期日、会場、参加者：10月18日、ケアセンター南昌、38人

11月18日、ケアセンター南昌、90人

内容：事業所における苦情事例検討及び講師による助言

オ 事業所巡回訪問の実施

実施事業所：40か所

内容：苦情解決事業取組状況の確認、改善に向けた助言、情報提供等
 カ 事業所研修会等に対する職員派遣
 派遣回数・参加者数：計7回、142人

キ 苦情・相談の受付・解決の概要

「苦情相談」及び「一般相談（問合せや相談等で苦情に至らなかったもの）」の件数は110件。その内訳は苦情相談48件、一般相談62件となった。

前年度との比較では「苦情相談」が3件、一般相談が6件減少した。

(ア) 受付別件数

受付方法						合計	
来所		書面		電話		苦情	一般
苦情	一般	苦情	一般	苦情	一般		
7	9	1	1	40	52	48	62

(イ) 苦情内容別・解決結果件数

苦情内容	受付	苦情解決の結果						
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		助言 申入	推奨 話合いの	紹介 伝達	あつせん	通知 知事へ	その他	継続 中
内 訳	①サービスの内容（職員の接遇）	29	29					
	②サービスの内容（サービスの質や量）	1	1					
	③利用料	2	2					
	④説明・情報提供	8	8					
	⑤被害・損害	4	4					
	⑥権利侵害	4	3				1	
	⑦その他							
合計	48	47	0	0	0	0	1	0

ク 運営監視小委員会の開催

委員数・開催回数：委員8人 開催5回（対象7基幹社協）、現地調査5回

内容：岩手県社会福祉協議会が市町村社協福祉協議会と連携して実施する日常生活自立支援事業の運営を監視し、必要に応じて助言、現地調査及び勧告を行う。

(3) 民生委員・児童委員の活動支援

① 民生委員児童委員活動支援事業 [地域福祉企画部]

岩手県民生委員児童委員協議会事務局を受託し民生委員活動費等の交付事務を担った。また、県の補助又は委託等を受け、民生委員・児童委員の資質向上及び活動支援のための事業を行った。

ア 研修会等

(ア) 主任児童委員研修会

期日、会場、参加者：7月9日、10日、岩手産業会館、347人

内容：子ども虐待の現状と支援のポイントに関する講義

子どもに関する相談事例をもとにした事例学習

(イ) 市町村民生児童委員協議会会長・副会長研修会

期日、会場、参加者：1月16日、1月22日、1月30日、2月4日、奥州市文化会館ほか、

437 人

内容：市町村民児協会長・副会長の役割と民児協運営のポイント等に関する講義・演習

(ウ) 民生委員等を対象とした相談事業研修会

期日、会場、参加者：11月12日、13日、ホテル千秋閣、108人

内容：今日の福祉問題の背景と相談員の役割に関する講演・事例学習

(エ) 岩手県保健福祉部と岩手県民生委員児童委員協議会との懇談会

期日、会場、参加者：11月21日、岩手県水産会館、16人

内容：民生委員・児童委員の欠員解消となり手の確保等に関する懇談

イ 指定民生委員児童委員協議会の推進

(ア) 県社協指定

指定期間：令和1～2年度

指定民児協：盛岡市・乙部野地区民児協、花巻市・湯口地区民児協

(イ) 県民児協指定

指定期間：平成30～31年度

指定民児協：盛岡市・本宮地区民児協、盛岡市・飯岡地区民児協

ウ 互助事業の実施

民生委員が死亡・傷害、被災した際のほか、配偶者が死亡した際、弔慰金や見舞金を給付するとともに、一斉改選退任者及び任期途中退任者へ慰労金の給付を行った。

給付件数、金額：1,185件、6,185,000円

内訳：公務傷害	7件	230,000円
一般死亡	10件	300,000円
配偶者死亡	16件	240,000円
一般傷病	38件	362,000円
災害見舞	5件	300,000円
退任慰労	1,109件	4,753,000円

エ 助成事業

(ア) 広域民生児童委員研修等事業費の助成

県内10広域圏での研修事業の実施を支援するため、民生児童委員協議会又は社会福祉協議会に助成金を交付した（うち北上広域は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は開催中止となり、交付決定及び送金済みの助成金は返還された）。

(イ) 市町村民生児童委員OB会への助成

市町村民生児童委員OB会組織・活動状況調査により活動を確認した10市町の15組織に対し、助成金を交付した。

オ 東日本大震災に関連する対応（県補助事業）

(ア) 沿岸地区民児協訪問事業

沿岸市町村の4市町村民児協を訪問し、これまでの活動の振り返りや活動上の課題等について委員相互に意見交換や助言し合うなどしながら、民生委員の精神的負担の軽減を図った。

- ・陸前高田市（8月22日）、田野畑村（10月9日）、宮古市（10月10日）、大船渡市（10月23日）
- ・山田町への訪問は、台風第19号災害の被害により中止となった。

・訪問内容をまとめた報告書を400部発行した。

(イ) 活動負担増分補助事業

震災で増加した活動に対する経済的負担の軽減のため、当該負担増加分の活動費補助を行った。

・補助決定者数、金額：6人、190,959円

(4) 東日本大震災からの復興支援と災害時対応体制の整備

① 東日本大震災被災者生活支援事業 [地域福祉企画部]

ア 生活支援相談員の配置

配置人数 115人 (3月末、県社協4人を除く市町村社協配置数)

活動対象世帯 4,714世帯

支援延べ回数 104,720回

イ 研修会の開催

(ア) 新任生活支援相談員研修

期日、会場、参加者：4月25日、ふれあいランド岩手、29人

9月13日、ふれあいランド岩手、32人

内容：対人援助技術、社協組織の役割理解、情報交換を通じ、生活支援相談員に必要な基本的な知識を身に付けるもの。

(イ) 現地事例検討会

期日、会場、参加者：6月24日、宮古市総合福祉センター、42人

6月25日、大船渡市Y.Sセンター、41人

内容：参加者が提出した事例による事例検討

(ウ) スキルアップ事例検討会

期日、会場、参加者：8月26日、27日、釜石地区合同庁舎、34人

内容：事例検討の進行役養成及び今後の支援の方向性を意識した事例検討のポイント

(エ) 生活支援相談員活動研究会

期日、会場、参加者：11月11日、12日、ホテル千秋閣、68人

内容：講義、講義、グループワーク（事例検討）で日頃の活動を振り返り、個別支援と地域支援双方の視点を持ちながらの支援方法の組み立て方について学ぶとともに、今後の活動の方向性を話し合った。

(オ) 生活支援相談員統括担当者会議・研修

期日、会場、参加者：1月21日、22日、ホテル大観、28人

内容：行政説明、復興期間終了を見据えた今後の事業推進の方向性等の検討、研修。

(カ) ファシリテーション研修（全3回コース）

期日、会場、参加者：7月23日、ふれあいランド岩手、26人

8月29日、都南公民館、25人

9月27日、ふれあいランド岩手、24人

内容：会議の進行や合意形成を得る過程の技術向上を図り、サロンや住民懇談会などにおいて住民の主体性醸成を促すためのファシリテーション技術を学ぶ講義と演習。

- ウ 被災者支援連携会議の開催
 期日、会場、参加者：5月24日、ふれあいランド岩手 43人
 内容：県地域福祉課、いわて内陸避難者支援センター、久慈市社協の情報提供、今後の被災者支援の方向性についての意見交換。
- エ 「拠点づくりモデル事業」説明会の開催
 期日、会場、参加者：4月17日、山田町社協、17人
 内容：事業内容及び予算等の今後の手続の説明及び情報交換（構想や進捗等）
- オ 情報交換会の開催
 【リーダークラスの生活支援相談員向け】
 期日、会場、参加者：8月5日、大槌町おしゃっち、23人
 12月16日、陸前高田市コミュニティホール、31人
 内容：リーダーに求められる視点の講義、拠点事業や今後の被災者支援のあり方等に関する情報共有等
- 【内陸生活支援相談員向け】
 期日、会場、参加者：10月17日、奥州市総合福祉センター、13人
 内容：内陸避難者支援で感じる課題や活動の共有
- カ 令和元年度東日本大震災被災者支援方策調査研究の実施
 (ア) 被災者調査委員会
 期日：8月8日、10月8日、12月19日
 内容：アセスメント基準の改訂、アセスメント表8,078件の集計、調査研究報告書の発行（700部 その他、本会ホームページに掲載）
- (イ) 支え合いマップ地域支援委員会
 期日：5月20日、11月25日、2月19日
 内容：取組経過表から効果・課題の考察、マップづくりマニュアルの改訂調査研究報告書の発行（450部、その他、本会ホームページに掲載）
 現地支援：宮古市、大船渡市、北上市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、滝沢市、大槌町、山田町、岩泉町、野田村で計32回、延べ39人
- (ウ) 被災者調査・地域支援合同委員会
 期日：5月28日、8月26日、1月21日
 内容：暮らしの定着期における事業展開方法整理、生活支援相談員活動マニュアルの検討
- キ 岩手県中長期的な見守り・支え合い等支援体制検討会
 期日：7月19日、9月30日、1月28日
 内容：復興・創生期間終了を見据え、住民同士の見守りや支え合い等を推進するため、課題や支援体制等を検討
- ク 多職種・多機関による被災者支援
 (ア) 災害公営住宅等自治会設立準備・継続支援への出席
 盛岡市県営南青山、大船渡市県営みどり町、北上市県営黒沢尻、一関市県営駒下・県営構井田、陸前高田市県営栃ヶ沢、奥州市県営桜屋敷、大槌町県営屋敷前、山田町町営山田中央団地・山田高台団地 計40回

(イ) 各種連絡会議・打合せ等

宮古市、北上市、釜石市、大槌町、山田町、内陸避難者支援ネットワーク会議、県庁ミーティング、大規模災害公営住宅自治会交流会等 計 53 回

(ウ) アドバイザーの派遣

宮古市 (8 月 27 日、28 日、10 月 7 日、1 月 20 日)、大船渡市 (2 月 12 日) 計 4 回
内容：事例検討会

ケ 「生活支援相談員ニュースレター」の発行

発行月：4 月～3 月 計 9 回発行

配布対象：生活支援相談員、市町村社協、県、他県社協、全社協等関係機関

発行部数：186 部／1 回 (その他、本会ホームページに掲載)

コ 生活支援相談員活動事例集 2019 の発行

発行月：3 月

内容：講師助言コメント付きの生活支援相談員活動事例、拠点の取組・支え合いマップの取組のレポート、活動の振り返りレポート (配置終了社協) 等

配布対象：県内生活支援相談員、県内市町村社協・行政、都道府県・指定都市社協

発行部数：500 部

サ 被災地民生委員児童委員協議会支援

シ 親族里親支援

ス 生活支援相談員活動実績 対象 4,714 世帯 支援延べ回数 104,720 件 (3 月末)

セ 現地連絡会議への出席

市町村	開催日
宮古市	5 月 29 日、6 月 27 日、8 月 23 日、10 月 2 日、12 月 11 日、2 月 7 日
釜石市	4 月 10 日、5 月 16 日、6 月 20 日、6 月 26 日、7 月 18 日、7 月 25 日、 9 月 12 日、9 月 19 日、10 月 17 日、11 月 13 日、11 月 21 日、12 月 4 日、 1 月 16 日、1 月 17 日、2 月 13 日、2 月 20 日
大槌町	8 月 29 日
山田町	4 月 22 日、4 月 26 日、5 月 23 日、6 月 12 日、6 月 21 日、7 月 25 日、 8 月 28 日、9 月 24 日、11 月 27 日、2 月 21 日

② 災害復興基金事業 [総務部]

東日本大震災後に本会に寄せられた寄付金のうち、特に使途明示のない寄付金により創設した「災害復興基金」を、本会や市町村社協が行う被災者支援活動の財源として活用した。

ア 復興基金積立額の推移

(単位：千円)

年度	積立額	取崩額	年度末残高
～平成 22 年度	5,559	—	5,559
平成 23 年度	150,662	0	156,221
平成 24 年度	19,263	28,000	147,484
平成 25 年度	32,151	13,047	166,588
平成 26 年度	7,205	10,141	163,652

平成 27 年度	5,555	11,398	157,809
平成 28 年度	5,083	22,694	140,198
平成 29 年度	4,865	14,921	130,142
平成 30 年度	349	11,290	119,201
令和元年度	7,298	10,413	116,086
計	237,990	121,904	

イ 令和元年度事業執行状況 (単位：千円)

	市町村社協		県社協	計
	件数	金額		
助成金	4	3,902	—	3,902
事業費	—	—	7,143	7,143
計	4	3,902	7,143	11,045

※事業費（県社協）の財源には、北海道社協(30 万円)、岡山県社協(10 万円)、大阪府社協(10 万円)及び兵庫県社協(20 万円)からの活動支援金(計 70 万円)を含む。

③ ボランティア・市民活動センター事業 [地域福祉企画部]

ア 東日本大震災等からの復興支援

ホームページ及び Facebook を活用した災害支援活動情報の発信を行ったほか、活動希望者・団体等と被災地ボランティアセンターのコーディネートを実施した。

イ 災害対応体制の整備

(ア) 災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル改訂ワーキング会議の開催

<第 1 回> 期日、会場：10 月 7 日、ふれあいランド岩手

<第 2 回> 期日、会場：1 月 16 日、マリオス

委員：市町村社協職員 8 人（盛岡市社協、雫石町社協、釜石市社協、奥州市社協、一関市社協、宮古市社協、久慈市社協、岩泉町社協）及び NPO 法人職員 1 人（遠野まごころネット）

内容：災害発生時に全国各地で災害ボランティアセンターが設置され、被災者支援が展開されている状況、令和元年台風第 19 号災害被災に伴う被災地での災害ボランティアセンターの支援状況を踏まえ、より住民の期待に応えることができる災害ボランティアセンターづくりを進めることを目的に、既存の「岩手県社協及び市町村社協災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」を改訂した。

(イ) 災害ボランティアコーディネーター研修会の開催

(INDS「三者連携に向けた災害時における初動対応研修」共催)

期日、会場、参加者：2 月 12 日、マリオス、75 人（行政職員、市町村社協職員、NPO 団体職員等）

内容：説明「災害後の各セクターの初動対応」

講義等「官民参加型「情報共有会議」に関する基礎知識」

「初動時の現地調査におけるポイント&被害表現キーワード」

(ウ) 災害に備えた平時からの連携構築

下記会議及び研修会に参加し、県内外の機関との連携を強化した。

- a 第4回災害時の連携を考える全国フォーラム（JVOAD 主催）
5月21日、22日、東京都・国際ファッションセンター、事務局1人参加
- b 災害ボランティアセンター運営者研修
10月1日～3日、東京都・タイム24ビル、事務局1人参加
- c 都道府県・指定都市社協災害ボランティアセンター会議
1月17日、全社協、事務局1人出席
- d 行政とNPO・ボランティア等との連携・協働研修会（内閣府（防災）主催）
2月13日、マリオス、事務局5人参加

ウ 令和元年台風第19号災害に係る災害ボランティアセンター運営支援

令和元年台風第19号災害による災害ボランティアニーズに対応するため、災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルに基づき、岩手県では久慈市、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、釜石市の7市町村社協が災害ボランティアセンターを立ち上げて支援活動を行った。野田村、大槌町の2市町村社協は通常ボランティアセンター活動で対応した。

(ア) 災害ボランティアセンター運営社協への応援職員派遣調整

災害ボランティアセンター応援職員派遣の要請があった6市町村社協に対しては、県社協が応援職員の派遣調整を行い、延べ365人を派遣した。

災害ボランティアセンター設置・運営経験がない普代村社協には、県社協職員が交代で常駐し直接支援、災害ボランティアセンター設置・運営経験がある他の市町村社協には、県社協職員が巡回型支援で対応した。

【参考】 応援職員派遣調整の状況（単位：人）

	派遣先	延べ派遣者数	支援社協
1	久慈市社協	32	二戸広域社協（二戸市・軽米町・九戸村・一戸町）
2	普代村社協	137	県央広域社協（盛岡市・八幡平市・滝沢市・葛巻町・岩手町・雫石町・紫波町・矢巾町）、北上・西和賀広域社協（北上市・西和賀町）
3	田野畑村社協	12	一関広域社協（一関市）
4	宮古市社協	115	胆江広域社協（奥州市・金ケ崎町）、気仙広域社協（大船渡市・陸前高田市・住田町）
5	山田町社協	19	気仙広域社協（大船渡市・住田町）
6	釜石市社協	50	遠野・花巻広域社協（遠野市・花巻市）
	合計	365	

(イ) 災害ボランティア活動者数 延べ6,493人

【参考】 市町村別活動者数一覧（単位：人）

宮古市	久慈市	釜石市	山田町	岩泉町	田野畑村	普代村	大槌町	野田村	合計
1,239	1,778	1,480	864	32	206	698	28	168	6,493

(ウ) 情報共有会議の開催

- a 現地情報共有会議の開催
支援初動時、久慈・宮古・釜石圏域3か所で受援社協職員と応援社協職員が出席し、現

地情報共有会議を開催した。

期日：10月18日、11月5日（釜石圏域のみ）

会場：野田村保健福祉センター（久慈圏域）、宮古市総合福祉センター（宮古圏域）、釜石市保健福祉センター（釜石圏域）

参加者：15人（久慈圏域）、16人（宮古圏域）、1回目8人・2回目8人（釜石圏域）

b 岩手県、INDS、県社協の情報共有会議の開催

<第1回> 期日、会場、参加者：10月25日、岩手県公会堂、9人

<第2回> 期日、会場、参加者：11月11日、ふれあいランド岩手、6人

(エ) 復旧・復興支援活動振返り会議の開催

期日、会場、参加者：1月15日、マリオス、25市町村社協28人

内容：支援活動報告、復旧・復興支援活動の振返り（支援エリアごとの振返り、災害ボランティアセンター運営社協による振返り）

④ 災害時広域支援ネットワーク(災害派遣福祉チーム)推進事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

ア 事務局体制の強化

・マニュアルに基づく連絡訓練（6月、8月、10月）

・局内における派遣初動訓練（養成研修内で実施）

イ チーム員の養成（県委託業務）

新規募集：8月実施 17人が予定者として登録

登録研修：10月11日、12日 18人修了

スキルアップ研修1：1月24日～26日 11人修了

※スキルアップ研修2は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ 他県の研修会等でのシンポジスト、講師等対応

秋田、鳥取、福島、新潟、愛知、岩手医大、避難所・避難生活学会、富士通総研等

2 住民の福祉活動の振興

(1) ボランティア活動の振興と福祉教育の推進

① ボランティア・市民活動センター事業 [\[地域福祉企画部\]](#)

ア 研修会の開催

(ア) ボランティア活動研究会の開催

期日、会場、参加者：5月28日、ふれあいランド岩手、25人（市町村社協職員等）

内容：講義「これからの岩手のボランティアセンターに期待すること」

グループワーク「住民に期待されるボランティアセンターを目指して」

(イ) ボランティアコーディネーター研修会の開催（再掲）

（台風第19号災害の影響により、災害ボランティアコーディネーター研修会（INDS「三者連携に向けた災害時における初動対応研修」共催）に変更の上開催）

期日、会場、参加者：2月12日、マリオス、75人（行政職員、市町村社協職員、NPO団体職員等）

内容：説明「災害後の各セクターの初動対応」

講義等「官民参加型「情報共有会議」に関する基礎知識」

「初動時の現地調査におけるポイント&被害表現キーワード」

(ウ) 暮らし支えるボランティアの集い

3月17日、一関市にて開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止

イ モデル事業の実施

(ア) 地域で育む福祉教育推進モデル事業

モデル指定期間：平成29～令和元年度

モデル指定先：大船渡市社会福祉協議会、金ケ崎町社会福祉協議会

助成額：大船渡市社会福祉協議会（17万円）、金ケ崎町社会福祉協議会（30万円）

内容：児童と地域住民との世代間交流及び地域住民の福祉意識向上のための研修会の開催等（大船渡市社協）、学校独自の計画によるボランティア活動体験講座等の開催等（金ケ崎町社協）

ウ 多様なボランティア機会の提供とボランティア活動への参加促進

(ア) 「2019 ボランティア体験 in いわて」の実施

期間：6月1日～1月31日

プログラム提供施設数、プログラム数：56団体、71プログラム

参加者総数：3,136人

主な体験内容：施設利用者、保育園の子どもたちとの交流や、介助等の手伝い、施設行事への参加、高齢者、障がい者宅の清掃・見守り活動

(イ) ボランティア出前講座の実施

対象：企業・各種団体・学校・市町村社協等

内容：ボランティア入門講話、キャップハンディ体験等

実績：9か所、217人参加

(ウ) いわて車いすフレンズ活動の支援（共同募金配分金事業）

県内工業高校7校の生徒が、破損等で使われなくなった車いすを修理・整備し、64台の車いすの整備が完了した。

a いわて車いすフレンズ整備技術講習会

期日、会場、参加者：6月25日、ふれあいランド岩手、42人

内容：寄贈先の状況に関する講話、車いす修理、修理済み車いすの梱包作業

b 活動助成

1校当たり1万円、計6万円を助成

c 車いす輸送費のための使用済み切手・書き損じはがきの収集活動

令和元年度実績（累計）：186団体、35個人

(エ) 21世紀スノーバスターズプロジェクト（共同募金配分金事業）

12月から3月に、各地域のひとり暮らし高齢者や、障がい者等の冬期間の雪かきを支援する「スノーバスターズ」活動を充実させるための取組への支援を9市町村で実施した。

・活動助成

総額 230,000 円を 9 市町村 11 スノーバスターズの前年度活動実績に応じて助成

エ ボランティア団体の支援

(ア) 岩手県ボランティア団体連絡協議会総会

期日、会場、参加者：6 月 24 日、ふれあいランド岩手、38 人

内容：平成 30 年度事業報告、令和元年度事業計画案、役員改選、幹事承認、情報交換

(イ) 市町村ボランティア連絡協議会総会への出席

期間、訪問実績：4 月～8 月、12 市町村 14 か所

内容：ボランティアセンター事業実施に係る連携強化、活動状況等の情報収集及び当該市町村社協ボランティアセンター支援

オ 企業・団体の社会貢献活動のコーディネート

(ア) 寄付・寄贈に係るコーディネート及び寄贈式の実施 5 件

助成金・寄付金 総額 128,179 円

福祉巡回車 1 台、車いす 11 台、使用済み切手 6.45 kg + 13,391 枚、書き損じはがき 29 枚

カ 情報発信

(ア) 県社協ホームページ及び「ずっぱりボランティアいわて」ホームページ

県内のボランティア活動、助成金情報、研修会等の案内を発信した。

(イ) 「岩手県社会福祉協議会災害関連情報ページ Facebook」

災害ボランティアに関する活動情報等発信した。

(ウ) 「いわての NPO・ボランティア活動情報誌 PIN - パイン」

年 4 回、6・9・12・3 月に、ボランティアに関する基礎知識、ボランティア体験 in いわて、ボランティア保険に関する寄稿を行った。

キ その他

(ア) 企画委員会

<第 1 回> 期日、会場、参加者：9 月 17 日、都南公民館、12 人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育メニューの開発、VC の広報力・県社協 VC の HP 改修、VC 機能向上）

<第 2 回> 期日、会場、参加者：2 月 21 日、ふれあいランド岩手、10 人

内容：県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育メニューの開発、VC の広報力・県社協 VC のホームページ改修、VC 機能向上）

(イ) 運営委員会

<第 1 回> 期日、会場、参加者：10 月 15 日、ふれあいランド岩手、13 人

内容：県社協ボランティア・市民活動センター事業の実施状況、県社協活動計画に基づく県社協ボランティア・市民活動センターの具体的な取組について（福祉教育メニューの開発、VC の広報力・県社協 VC のホームページ改修、VC 機能向上）

<第 2 回> 3 月 23 日、開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため

め開催中止

(2) 情報発信機能の強化

① 機関紙「パートナー」発行及びホームページ等による情報発信事業 [総務部]

本会の機関紙「パートナー」を年6回、部数（毎号5,000部）を発行し、社会福祉に関する情報や本会をはじめ会員施設や市町村社協の活動を紹介するなど、見やすく分かりやすい機関紙発行に努めた。

ホームページについては、社会福祉関係者はもとより、県民が利用しやすい内容に充実・改善し、常に新しい情報の提供に努めた。（ホームページ年間アクセス回数：16.9万回）

3 福祉人材の養成と確保

(1) 福祉人材の養成とスキルアップ支援

① 社会福祉従事者等研修・資格取得講座 [福祉人材研修部]

福祉サービスを担う人材の確保や育成、社会福祉・介護従事者の資質向上や定着促進のためのキャリアアップ等を目的に、経営者及び社会福祉従事者を対象とした研修を実施した。

ア 福祉施設のためのリスクマネジメント講座

県内社会福祉施設・事業所の職員に、福祉サービスの提供に必要とされるリスクマネジメントの専門的な知識と技能を習得させ、資質向上を図ることを目的に開催した。

期日、会場、受講者：6月4日、ホテルニューカリーナ、194人

内容：コンプライアンスの基本、リスクマネジメント（リスクとは何か・危険予知の取組）に関する講義と講師から提示されるテーマに基づく意見交換等

イ 社会福祉従事者新任職員研修会

新任職員として職場への適応促進と福祉職員としての自覚を高めるとともに、現場実践に必要な基礎知識・技術等の習得を図ることを目的に開催した。

期日、会場、受講者：6月26日、27日、岩手産業文化センターアピオ、123人

内容：職場生活の基本、福祉倫理と運営管理、メンバーシップと課題解決、キャリアデザインとセルフマネジメント、多職種連携とチームアプローチ

ウ 社会福祉従事者リーダー職員研修会

組織内で期待される基本的役割の理解を深めるとともに、業務課題の解決や職務遂行に必要な知識・技術などの習得、リーダーとしての能力の向上を図ることを目的に開催した。

期日、会場、受講者：9月10日、11日、岩手産業文化センターアピオ、111人

内容：リーダーシップとメンバーシップ、福祉の専門性とキャリア形成、多職種連携とチームアプローチ、リーダー職員の役割とコーチング、業務課題の解決と実践研究

エ 介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会

本試験に向けて、介護保険制度や必要な知識について理解を深めることを目的に開催した。

期日、会場、受講者：8月8日、9日、アイーナ、38人

内容：介護支援・保健医療サービスの各科目のポイントに関する講習

オ 介護職員実務者研修通信課程事業

介護福祉士国家試験の受験資格の一つである介護職員実務者研修について、全国社会福祉協議会中央福祉学院が実施する通信課程のスクーリングを受託実施した。

【医療的ケアの実技演習】

期日、会場、受講者：8月28日～30日、ふれあいランド岩手、28人（修了者24人）

【介護過程Ⅲの面接授業】

期日、会場、受講者：9月19日、20日、10月9日～11日、10月24日、ふれあいランド岩手、28人（修了者26人）

カ 介護入門研修事業

介護未経験者が、介護分野で働く際の基礎知識や技術を習得することを目的に、国が示したカリキュラムに基づき、岩手県から受託して実施した。

なお、全課程修了者38人のうち、希望する者へは福祉施設へのマッチングを行い、4人（介護職3人、介護補助1人）が就職した。

<第1回> 期日、会場、参加者：9月12日、17日、24日、ふれあいランド岩手、20人
修了者（17人）内容：介護に関する基礎知識、基本技術ほか

<第2回> 期日、会場、参加者：11月8日、15日、22日、ふれあいランド岩手、21人
修了者（21人）内容：介護に関する基礎知識、基本技術ほか

キ 児童福祉施設職員等を対象とした児童虐待対応研修事業

児童福祉施設職員を対象に児童虐待への適切な対応や未然防止、関連機関との連携のための知識・技術を修得することにより、地域の子どもの最善の利益とその福祉の増進に資することを目的に岩手県から受託して実施した。

期日、会場、参加者：12月9日、アイーナ、108人

② 介護職員等医療的ケア研修事業 **[福祉人材研修部]**

ア 令和元年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号、第二号研修）指導者養成講習

期日、会場、参加者：【講義・演習】 9月5日～7日、ふれあいランド岩手
10月22日～24日、アイーナ 38人

【指導演習】 11月13日、14日、アイーナ 12月10日、11日、
アイーナ、36人（修了者36人）

内容：介護職員等による医療的ケアの実施、研修カリキュラム、喀痰吸引のケア実施、経管栄養のケア実施、安全管理体制とリスクマネジメント等の講義及び演習

イ 令和元年度岩手県介護職員等医療的ケア研修（第一号・第二号研修）

（ア）基本研修（講義・演習）及び実地研修

期日、会場、参加者：【講義】 6月4日～7日、11日～14日、一関保健センター

7月2日～4日、9日、10日、22日～24日、アイーナ

7月2日、9日又は10日、22日又は23日、8月19日、20日、9月5日又は6日、9月26日、27日、アイーナ及びふれあいランド岩手

【演習】 11月12日～15日、12月9日～12日、アイーナ

【実地研修】 11月28日～1月28日、12月20日～2月20日、

所在する施設・事業所又は居宅 206人(修了者156人)

(イ) 介護福祉士養成校等修了者であって、医療的ケア研修基本研修：講義及び演習の修了者を対象とした技術確認演習及び実地研修

期日、会場、参加者：【技術確認演習】9月6日、7日、ふれあいランド岩手

10月23日、24日、アイーナ

【実地研修】9月20日～11月30日、施設・事業所又は居宅

11月4日～1月31日、施設・事業所又は居宅、128人
(修了者107人)

ウ 令和元年度介護職員等医療的ケア研修（第三号研修・特定の者対象）

期日、会場、参加者：【実地研修】10月16日～12月16日、施設・事業所又は居宅、3人
(修了者3人)

(2) 福祉人材の確保とマッチングの強化

① 福祉人材センター運営事業 [\[福祉人材研修部\]](#)

ア 福祉人材無料職業紹介

「福祉人材情報システム」を運用し、無料職業紹介所として、求人求職のあっせんを中心に事業を行った。求職者に対し資格取得や就職に関する相談、福祉全般に関する情報提供を行ったほか、毎月第2土曜日を相談日として開所し、利用促進を図った。また、社会福祉法の一部改正による離職した介護福祉士等の届出制度は、登録者の増を目的に各種の広報周知に努めた。

【求人・求職の実績】

年度	新規求人数 (人)	新規求職数 (人)	採用数 (件)	求人求職相談数 (件)
令和元年度	4,769	1,046	177	8,166
平成30年度	4,833	1,064	168	7,620
平成29年度	4,569	1,135	172	6,912
平成28年度	4,947	1,010	234	8,306

イ 各種会議・研修会への参加

(ア) 介護人材確保地域戦略会議

期日、会場：9月18日 全国社会福祉協議会

(イ) 福祉人材センター全国連絡会議

期日、会場：9月19日 全国社会福祉協議会

(ウ) 北海道・東北ブロック福祉人材センター・福祉人材バンク連絡会議

期日、会場：11月7日、8日 札幌市 ※台風第19号災害への対応のため中止

(エ) 岩手県介護労働懇談会（介護労働安定センター岩手支部主催）

期日、会場：9月25日 アイーナ ※第2回（中止）

ウ 主催会議

(ア) 福祉人材センター運営委員会

<第1回> 期日、会場、参加者：7月5日、ふれあいランド岩手、10人

内容:平成30年度事業実施状況、令和元年度事業計画、福祉人材確保について

<第2回> 期日、会場、参加者：2月17日、ふれあいランド岩手、12人

内容:令和元年度事業実施状況、福祉人材センターの主要課題とその対応に向けて、令和2年度事業計画、運営委員会及び養成機関等連絡会議のあり方について

(イ) 福祉人材養成関係機関等連絡会議

期日、会場、参加者：7月12日、ふれあいランド岩手、7校7人（福祉人材養成校）

内容：求人・求職状況、各養成校の就職・入学等状況、福祉人材確保への取組

エ 雇用関係給付金の取扱相談窓口の開設

制度の説明及び周知を行うとともに制度対象者の手続を行った。

- ・特定求職者雇用開発助成金の申請 15件（内訳：高年齢者7件、生涯現役コース（65歳以上）3件、母子家庭の母等4件、障がい者1件）

オ 広報・啓発事業

(ア) 岩手県福祉人材センターのPR

事業の利用者増を目的に、岩手県福祉人材センター利用案内リーフレットを4,000部作成し、求職者や県内の福祉施設・事業所、公共機関やハローワークなどの関係機関・団体に配布した。

(イ) 求人情報紙・地域情報紙、マスメディア等を活用した広報事業

「Be-job いわて」「マ・シェリ」「岩手日報」「IBCラジオ」「エフエム岩手」の広報を通じて、福祉の就職総合フェアの案内や岩手県福祉人材センター事業を継続してPR、福祉の就職総合フェアの開催案内を掲載した。

(ウ) 岩手県福祉人材センターホームページ

事業案内、求人情報、利用案内、各種資料提供等を充実し情報発信した。

カ 「介護・保育・福祉の就職相談会」の開催

福祉の職場への就職希望者や学校の進路指導担当者等を対象に、福祉の職場の現状や就職に関する情報提供、福祉施設・事業所等との個別面談の場として1回開催した。

<第1回> 期日、会場、参加者：7月27日、ふれあいランド岩手、事業所53、76人

内容：事業所プレゼンテーション、個別面談会、各種相談コーナー

<第2回> 2月29日開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

キ 事業所訪問

障がい者分野への求人に応募者が少ないことから、専門相談員の配置等の実情を把握し、障がい者福祉施設へのマッチング支援を効果的に行う方法の参考とするため8法人を訪問した。

ク 就職面接会、就職ガイダンス等への参加

- ・(公財)ふるさといわて定住財団（計3回）
- ・岩手労働局・盛岡公共職業安定所・介護労働安定センター岩手支部（計1回）
- ・自治体等主催の就職面接会やガイダンス（計11回／うち雫石町社協2回）

ケ 福祉人材養成校でのガイダンス・相談会の実施

- ・岩手県立大学（計1回）
- ・岩手女子高校（計1回）

コ 小学生・中学生・高校生を対象とした福祉のしごと紹介事業（出前講座）の開催

将来福祉・介護サービスの担い手となる若年層に、福祉人材の重要性と福祉の仕事の魅力を伝え、将来の進路選択につなげることを目的に、地域の福祉施設・事業所の職員を学校に派遣

し講座を行った。「出前講座」資料、小冊子作成)

実績：合計 18 校 19 回 863 人

小学校 13 校 503 人、中学校 4 校 324 人、高等学校 1 校 36 人

サ 介護福祉士等届出制度の推進

登録者 59 人 (年間目標 41 人)

② 介護人材マッチング支援事業 [福祉人材研修部]

本県における福祉・介護人材の確保を目的として、県内に 7 人のキャリア支援員を配置し、きめ細かな求職者への相談支援、福祉施設・介護事業所訪問による求人開拓、働きやすい職場づくりに向けた指導・助言などの事業を行った。

ア キャリア支援員の配置及び活動拠点

盛岡市 (2 人)、奥州市、久慈市、釜石市、宮古市及び大船渡市 (各 1 名) に計 7 人を配置

イ 事業実施内容 ※ () 内は前年度実績

(ア) 各ハローワーク、自治体等と連携した就労相談窓口の開設 (定期的な相談日の開設出張相談、就職面接会等へ参加) 及び臨時的相談対応

実施状況：求職者相談 2,467 (2,071) 件、採用者数 209 (191) 人

(イ) 福祉施設・事業所の計画的巡回訪問と求人開拓

実施状況：事業所訪問 567 (552) 件、新規事業所開拓数 12 (24) 件

新規求人開拓数 175 (118) 件

(ウ) 各ハローワーク、自治体、市町村社協等関係機関の訪問

実施状況：894 (899) 件

(エ) 介護職の潜在有資格者に対する福祉業界への再就職を支援する講座

開催地 (8 か所)：二戸、久慈、盛岡、北上、一関、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加者 68 (60) 人

(オ) 介護施設見学バスツアー

開催地 (1 か所)：県央 (2 回)

参加状況：参加者 48 (27) 人

(カ) 小規模事業所を対象とした合同面談会

開催地 (6 か所)：盛岡 (2 回)、久慈、一関、宮古、釜石、大船渡

参加状況：参加事業所 46 (49)、参加者 119 (124) 人

(キ) 小規模事業所合同研修会

開催地 (9 圏域)：二戸、久慈、盛岡、岩手中部、胆江、両磐、宮古、釜石、気仙

実施状況：27 (27) 回 参加事業所 294 (247)、参加者 448 (412) 人

(ク) 介護カフェ～はじめの一步～ (介護のしごと悩み相談会)

開催地 (7 か所)：久慈、盛岡、奥州、一関、宮古、釜石、大船渡

実施状況：8 回 (1)、参加者 27 (7) 人

(ケ) 介護入門研修会

開催地 (1 か所)：盛岡 (2 回)

参加状況：参加者 38 (23) 人

ウ 各種会議・研修会への参加

(ア) 福祉人材情報システム研修

期日、会場：4月18日、19日、全国社会福祉協議会

(イ) 業務・法令研修

期日、会場：5月23日、24日、全国社会福祉協議会

(ウ) マッチング機能強化研修

期日、会場：7月18日、19日、全国社会福祉協議会

エ 介護の職場体験事業の実施

福祉分野の就労経験がない求職者等の福祉の仕事に対する理解促進を図り、就職を支援することを目的として、県内福祉施設・事業所における日常業務の体験事業を実施した。

実績：体験総数76(76)人(平均43.96歳/体験日数2.48日)

介護の職場への就職者46(46)人(60.5%)

オ 情報紙の発行

県内の高齢者福祉施設・事業所向け情報紙「エール」を発行(年3回・各1,500部)した。

③ 保育士・保育所支援センター保育士人材確保事業 [福祉人材研修部]

県内の保育人材を確保するため、岩手県の委託事業として「岩手県保育士・保育所支援センター」を設置。専任コーディネーター2人体制で、求人求職等ニーズ把握や保育士の就職相談等の支援を行った。特に、有資格者で現在働いていない潜在保育士の再就職に向けた支援に重点を置いて事業を実施した。

ア 保育士・保育所支援センター設置事業実績

	潜在保育士	その他保育士	保育所等	その他施設	計
マッチング	90件	30件			120件
相談件数	598件	240件	818件	63件	1,719件

※保育士・保育所支援センターの相談支援を経て保育士が就職した場合、マッチング成功としてカウント

イ 令和元年度児童福祉研修事業(保育士人材確保)

(ア) 新任保育士(就業継続支援)研修会

期日、会場、参加者：6月19日、アイーナ、85人

(イ) 潜在保育士(再就職支援)研修会

期日、会場、参加者：9月12日、10月25日、11月28日 ふれあいランド岩手、35人

ウ 保育士カフェの開催

潜在保育士の再就職を支援するため、保育士カフェを開催した。

<第1回> 7月24日 花巻生涯学園都市会館、6人

<第2回> 7月30日、ふれあいランド岩手、7人

<第3回> 10月4日、上中島こども園子育て支援室、1人

<第4回> 10月10日、奥州市福祉総合センター、3人

<第5回> 10月11日、大船渡市Y・Sセンター、2人

<第6回> 10月29日、一関保健センター、3人

<第7回> 12月6日、ふれあいランド岩手、4人

- ＜第8回＞ 12月12日、北上市総合福祉センター、5人 計8回 延べ31人
 エ 会議への参加
 保育士・保育所支援センター実施福祉人材センター連絡会議
 期日、会場：12月11日、全国社会福祉協議会

④ 介護等体験受入調整事業 [福祉経営支援部]

ア 介護等を体験した学生

	大学	短大	計
県内	326人	0人	326人
県外	10人	0人	10人
計	336人	0人	336人

イ 体験を受け付けた学校数

	大学	短大	計
県内	4校	0校	4校
県外	5校	0校	5校
計	9校	0校	9校

ウ 受け入れた施設数

71施設

(3) 退職共済制度の適正運営と福利厚生事業の充実

① 民間社会福祉事業職員共済事業 [総務部]

県内の民間社会福祉事業施設及び団体に勤務する職員の福利厚生を目的として本会が実施している民間社会福祉事業職員共済事業の財政運営の健全化を図るため、平成27年3月に策定した「積立水準回復計画」に基づき、事業の適正な運営に努めた。

総合利回りの目標は年率3.0%とし、令和2年2月までは3.81%の実績を上げていたが、3月に入り新型コロナウイルス感染症拡大により国内株式、外国株式とも大幅に下落し、最終の総合利回りは年率0.12%となった。

また、財政の状況を示す令和元年度末現在の責任準備金率は前年度から0.0009ポイント減少して0.7135となり、積立水準回復計画による「金融機関による収支予測計算の結果」、令和元年度の0.75を0.0365ポイント下回った。

ア 加入及び会費受入れ・給付状況

令和元年度末 加入状況		令和元年度における会費受入・給付状況 (百万円)			
加入 施設団体	加入人数	会費収入	給付金	(内訳)	
				退会給付金	慶弔見舞金
721	12,959人	1,777	1,590	1,582	8

イ 資産の状況

(ア) 資産運用内訳

(単位：百万円)

	国内		外国		その他 資産	短期 資産	普通 預金	計
	債券	株式	債券	株式				

三菱 UFJ 信託 銀行	単独運用 指定包括 信託(%)	6,208 (47.8%)	777 (6.0%)	3,473 (26.7%)	424 (3.3%)	280 (2.2%)	1,830 (14.1%)	-	12,992 (100.0%)
	特定包括 信託	-	-	106	-	-	-	-	106
岩手銀行ほか		-	-	-	-	-	-	961	961
合 計		6,208	777	3,579	424	280	1,830	961	14,059

(イ) 単独運用指定包括信託及び特定包括信託運用の増減内訳

(単位：百万円)

信託区分	前期末残高 (A)	期中追加額 (B)	期末時価残高 (C)	期中評価損益 (C)-(A+B)
単独運用指定包括信託	11,811	1,200	12,991	- 20
特定包括信託	104	0	106	2
合 計	11,915	1,200	13,097	-18

※期末時価残高に未収収益 23 百万円は含まれない。

(ウ) 運用収益率（信託報酬控除前）

(単位：百万円)

信託区分	実現利回り		総合利回り		修正 総合利回り
	実現損益	利回り	総合損益	利回り	利回り
単独運用指定包括信託	274.1	2.24%	14.6	0.12%	0.12%
特定包括信託	1.5	1.44%	1.5	1.44%	1.44%
合 計	▲66.3	-	127.3	-	-

※信託報酬は 35.1 百万円

(エ) これまでの運用実績（単独運用指定包括信託・信託報酬控除前）

(年率)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
総合利回り	6.12%	△2.52%	0.62%	0.83%	1.08%	0.12%

ウ 財政状況

(単位：百万円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R01
責任準備金 A	17,045	17,776	18,258	18,869	19,523	19,759
積立金 B	12,456	12,643	12,963	13,548	13,948	14,098
差 額 B-A	△4,589	△5,133	△5,295	△5,321	△5,575	△5,661
責任準備金率 B÷A	0.7308	0.7113	0.7100	0.7180	0.7144	0.7135

※責任準備金率：将来の給付のため現時点で保有しなければならない積立金に対する積立率

積立金には、未収会費 35.4 百万円及び貸付金残高 4.1 百万円を含む

エ 積立水準回復計画

(ア) 会費の引上げ

- ・会費及び事業主負担額を現行の 1000 分の 50 から 1000 分の 57.5 に引上げ

(イ) 給付事業の見直し

- ・慶弔見舞金のうち、死亡弔慰金の本人給付額を減額し、配偶者死亡の場合の給付を廃止
- ・健康管理助成金及び生活融資金事業を廃止

(ウ) 資産運用の経費の節減

- ・資産運用リスクをできる限り回避し、目標運用利回り 3 パーセントの達成と、運営事務費（人件費、事務諸費）の節減に引き続き努める

(エ) 計画の期間

- ・平成 27 年度から 30 年間

(オ) 定期検証の実施

- ・毎年度末の責任準備金率と「金融機関による収支予測計算の結果」の積立比率を比較のうえ定期検証を実施

(カ) 計画の変更

- ・計画実施後 3 年毎に定期検証時点での責任準備金率が「金融機関による収支予測計算の結果」の当該年度の【積立比率】を 0.1 ポイント以上下回った場合は、その翌年度の 7 月以降の会費は 1000 分の 57.5 から 1000 分の 60 に引上げ

(キ) 実施時期

- ・(ア) は平成 27 年 7 月 1 日から実施、(イ) の慶弔見舞金は平成 27 年 4 月 1 日から実施、(イ) の健康管理助成金及び生活融資金事業は平成 28 年 3 月 31 日をもって廃止

② 福利厚生センター受託事業 [\[総務部\]](#)

ア 未加入及び新規加入事業所へ事業 PR の実施

いわて福祉だより（パートナー）に事業案内を掲載するなどして PR を図った。

年度	H27	H28	H29	H30	R 1
会員数（人）	4,073	4,166	4,323	4,190	4,005

イ 福利厚生企画・情報会議の実施

期日、会場：6 月 10 日（ふれあいランド岩手）、11 月 29 日（書面開催）

内容：加入法人・事業所の施設長、職員等による企画・情報会員 8 人、福利厚生推進員 4 人にて魅力ある会員交流事業の企画協議

ウ 福利厚生センター会員交流事業の実施

事業内容	参加者数
三陸海岸【釜石】の初夏を食す！ 「和の膳 みや川」で豪華海鮮グルメ交流会(6月29日)	18人
仙台うみの杜水族館と松島湾遊覧船バスツアー(7月21日)	23人
今年もみんなでカンパイ！全国地ビールフェスティバル in 一関(8月24日)	70人
三陸海岸の秋を行く！ 三陸鉄道リアス線～レトロ列車で豪華スイーツグルメ交流会(9月21日)	26人
北海道新幹線で行く函館のんびり・きままに自由旅(9月28日～9月29日)	34人
スポーツの秋！食欲の秋！！秋のスポーツ&グルメ交流会 ※台風第19号の影響により中止(10月13日)	27人
グルメ交流会 in 北上 気軽に本格欧米料理を堪能しよう！(10月19日)	26人
三陸海岸【大槌】の秋を食す！ 吉里吉里「自然派厨房 凜々家」で豪華海鮮グルメ交流会（11月16日）	21人
グルメ交流会 in 盛岡 ART THE KITCHEN（11月25日）	42人
グルメ交流会 in 北上 ソウェルクラブ会員様特別コース！ 「本格鉄板焼きでいただく魚介と特選牛ステーキの夕べ」（12月7日）	30人

東京ディズニーリゾートへの旅(1月11日～1月12日)	47人
和牛焼肉宴会 in たむら屋(1月25日)	45人
スパリゾートハワイアンズ・アクママリンふくしまへの旅(2月15日～2月16日)	23人
最高級黒毛和牛を堪能！前沢牛オガタでいただく焼肉&ステーキ ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(2月29日)	55人
宮大工建築と源泉掛け流しの湯宿山の神温泉 優香苑で過ごす日帰り会食温泉 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(3月1日)	40人
お楽しみグルメ交流会 本格鉄板焼きでステーキを食す in 和かな ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(3月7日)	30人
映画鑑賞割引助成事業(10月1日～1月31日)	607人
スキー&スノーボードリフト券購入助成事業(シーズン開始～終了)	713枚

4 社会福祉事業経営の支援

(1) 社会福祉事業経営の支援

① 社会福祉経営サポート事業 [福祉経営支援部]

ア 経営支援研修会の開催

期日、会場：9月27日、二戸地区合同庁舎

参加者：14法人、うち小規模法人等9法人（小規模法人5法人、経営協非会員4法人）、27人

内容：社会福祉法改正に関する講義

イ 地域公益活動推進セミナーの開催

期日、会場：9月26日、二戸地区合同庁舎

参加者：12法人、うち小規模法人等8法人（小規模法人3法人、経営協非会員5法人）、22人

内容：社会福祉法人による地域公益活動に関する講演、実践報告

ウ 税理士等による社会福祉法人経営説明・相談会

期日、会場：9月27日、二戸地区合同庁舎

参加者：3法人、うち小規模法人等2法人（小規模法人1法人、経営協非会員1法人）

エ 経営相談の実施

一般相談 38件

経営相談会 3件

オ 社会福祉法人に関するアンケート調査の実施

調査基準日 1月16日

回収率 64.2%

調査項目の追加 地域における公益的な取組の実施状況、法人経営の状況等について

② いわて障がい者就労支援復興センター運営事業 [福祉経営支援部]

ア 被災沿岸市町村にある事業所の運営体制の安定化、商品力向上、販路拡大や新規立上げに向けた支援

(ア) 専門アドバイザー派遣による事業所個別支援

専門アドバイザーを6事業所に延べ13回派遣

・事業所及び商品紹介パンフレットデザインアドバイス 3回

- ・農業技術支援 2回
 - ・衛生管理状況検査及び改善アドバイス 8回
- (イ) 事業所の課題に対応する事業所単位等の研修会の開催
 研修会の開催 8回実施 (25事業所 55人参加)
- ・本会企画 5回
 - 改正食品表示法：8月8日・盛岡市
 - 改正食品衛生法 (HACCP) 制度：10月15日、盛岡市 10月17日、宮古市
 - 職場環境改善 (5S)：2月4日、盛岡市 2月5日、宮古市
 - ・事業所単位 1回：1月20日、陸前高田市
 - ・本会職員講師対応 2回：12月12日、岩泉町 1月24日、陸前高田市

イ 被災地障がい福祉サービス事業所生産活動支援事業受託事業所と連携した新製品の開発や販路拡大の取組による利用者の賃金・工賃の向上支援

(ア) 県社協共同受注センターを通じた商品販売促進

久慈圏域：あすリード本舗、みずき園

宮古圏域：カリ亭、宮古アビリティセンター、みやこワーク・ステーション、
 ワークプラザみやこ、SELPわかたけ、ハックの家、ジョブ・パートナー山田

釜石圏域：かまいしワーク・ステーション、わらび学園、ワークフォローおおつち、
 まごころ就労支援事業所釜石、まごころ就労支援事業所おおつち

気仙圏域：@かたつむり、慈愛福祉学園、朋友館、星雲工房、青松館、あすなるホーム

(イ) 県社協共同受注センターによる各事業所商品の販売状況

9,825,424円

(ウ) 被災沿岸市町村にある事業所と県内の被災沿岸市町村以外の市町村にある事業所等との組合せ又は共同作業による商品開発や共同生産、生産力向上の支援

a るんびにい美術館 (花巻市) とカリ亭 (宮古市) との協働によるレトルトカレー開発及び受託製造

1,620袋 426,360円

b えさしふれあい工房 (奥州市) とかまいしワーク・ステーション (釜石市) との協働による焼き菓子商品「橋野鉄鉦山クッキー」の継続販売

4枚入り 335箱 180,900円

10枚入り 2,818箱 3,043,440円

個装 332枚 33,200円

c @かたつむり (大船渡市) と北上アビリティセンター (北上市) との協働による災害備蓄品「もしもの備え」の継続販売

スタンダードタイプ2人用 25個

コンパクトタイプ1人用 300個

d みやこワーク・ステーション (宮古市)、ハックの家 (田野畑村)、星雲工房 (大船渡市)、あすなるホーム (陸前高田市) で製造する商品の盛り合わせ商品「いわて福盛り」の企画・販売

153 袋 99,685 円

e かまいしワーク・ステーション（釜石市）、朋友館（大船渡市）製造する商品の盛り合わせ商品「三陸復興ギフト」の継続販売

25 箱 27,000 円

ウ 企業、官公庁、消費者に対する事業所の自主生産製品及び請負作業の受注の支援

（ア）沿岸部事業所の自主生産製品の受注支援（共同受注センター取扱い）

95 件 754,317 円

（イ）請負作業受注支援（共同受注センター取扱い）

48 件 2,307,806 円

エ 事業所の自主生産製品のPR、販売イベントの企画、情報提供

岩手県障がい者スポーツ大会、全国ナイスハートバザール 2019in みえ、全国ナイスハートバザール 2019in 鹿児島、釜石・大槌地域障がい者自立支援協議会就労支援部会合同販売会のほか 30 イベントで、沿岸市町村の延べ 99 事業所が直接販売又は本会等への委託販売により製品を販売し、その売上額は 1,113,310 円（本会受託販売分を含む）。

オ 上記ア～ウを達成するために必要な調査、課題把握

改正食品衛生法の令和 2 年 6 月 1 日施行を踏まえ、沿岸圏域の事業所での HACCP への取組状況について、調査を実施。

多くの事業所では、これから取り組む状況がうかがえ、次年度以降、その取組を支援する方策を検討し、実施する予定。

37 事業所中 33 事業所から回答（回答率 89.2%）

③ 共同受注窓口事業 [福祉経営支援部]

取扱売上高 37,128,775 円

ア 令和 2 年 3 月末の加入事業所 87 事業所（※重複契約あり）

販売契約 61 事業所

役務・請負契約 71 事業所

イ 商品販売売上総額 22,349,851 円

（ア）常設店舗、ネットショップ等での販売 21,952,851 円

主な販売先：イオンスーパーセンター、イオンリテール、マイヤ、乃村工藝社、岩手県庁生協、釜石振興開発、岩手空港ターミナルビル、岩手県自動車整備商工組合のほか、県内外の官公庁、企業、福祉事業所等

※ 遠野ふるさと公社（イオン盛岡南「結の市」令和 2 年 2 月閉店）

（イ）ふるさと納税返礼品の受注

岩手県におけるふるさと納税返礼品として、沿岸市町村の 2 事業所の製品を納品

売上 397,000 円

ウ 日本セルフセンター福祉施設向け商品販売売上総額 585,826 円

エ 役務・請負委託業務の受注 受注総額 13,033,004 円

（ア）役務・請負委託業務の受注

官公庁、本会種別協議会を中心に、86 業務 9,005,822 円を受注

(イ) 農業に関する作業（農福連携）業務の受注

りんご栽培、野菜の水耕栽培等に係る業務を受注 7 業務 3,348,386 円

(ウ) 企業からの継続的な役務・請負業務の受注

通年で 6 業務を 8 事業所が受注 受注額 678,796 円

オ イベントでの出店販売

41 イベントに、249 事業所が出店販売又は本会等への受託販売等を実施し、4,226,126 円の販売実績（うち、共同受注センター売上収入額 938,833 円、販売手数料収入 221,261 円）

④ 岩手県障がい者農福連携事業 [福祉経営支援部]

ア 農業者と障がい者就労施設による施設外就労のマッチング支援

マッチング件数 14 件

イ 農業関係者向け研修会の実施

開催回数 10 回 参加者数 438 人

※ うち 1 回は、台風第 19 号被害により、説明会を開催中止した特別支援学校 1 校分として実施した研修会開催分

ウ 施設職員向け農業者セミナーの開催

基礎セミナー 4 回 参加者数 75 人

専門セミナー 1 コース（りんご栽培に係るセミナー 全 7 回） 参加者数 延べ 46 人

エ 特別支援学校で説明会の開催

実施回数 13 回（実施校数 12 校、対象を農業従事者に切り替えて実施分 1 回）

参加者数 421 人

※ 台風第 19 号被害により、宮古恵風支援学校での説明会を中止したため、中止分を農業従事者に対象を切り替えて開催

オ 農福連携グランプリ大会の開催

(ア) 決勝大会

もりおか歴史文化館前を会場に開催されたテレビ岩手主催「内丸大縁日」内で実施。午前の部としてパン部門及び菓子・パン以外の加工品部門の、午後の部として菓子部門の試食投票を行い、各部門での投票の獲得数により表彰

開催期日 8 月 25 日 投票者数 延べ 174 人

○ パン部門

最優秀賞 「原木しいたけのアヒージョ」 こぶし苑（花巻市）

優秀賞 「花巻！純情やさいのピゼッタ」 ちゃい星が丘工房（花巻市）

テレビ岩手賞 「枝豆ゴロゴロ」 Combilly Bakery ちゃい（花巻市）

○ 菓子・パン以外の加工品部門

最優秀賞 「トマさんソース（ほうれん草カレー味）」 @かたつむり（大船渡市）

優秀賞 「三陸海鮮汁 しいたけ入り」 盛岡アビリティセンター（盛岡市）

テレビ岩手賞 「金のなたねと銀のさば」 カリー亭（宮古市）

「ひたかみ よせ豆腐」 ワークみずさわ（奥州市）

「バジルソース」 まごころ就労支援センター大槌（大槌町）

- 菓子部門

最優秀賞	「アロニア tumugy」	わ〜くす城南（盛岡市）
優秀賞	「スイカシフォン」	菓子工房 夢舎夢舎（花巻市）
テレビ岩手賞	「きくいもパウンドケーキ」	かまいしワーク・ステーション（釜石市）
	「幸せの青い玉子プリン」	南部マルシェ ぞっこん広場（盛岡市）
	「大豆クッキー」	とばせ園（北上市）
	「きゅうりのムース」	すまいるブース（滝沢市）

(イ) 予選会

県内3圏域で予選会を実施。来場者による試食投票を行い、最も投票数が多い事業所を表彰

- 盛岡：6月25日、ふれあいランド岩手、来場者数100人
- 県南：7月2日、奥州地区合同庁舎分庁舎、来場者数80人
- 沿岸：7月4日、沿岸広域振興局、来場者数100人

【各圏域の最多投票事業所】

- | | |
|--------------------|------------------|
| 盛岡：「三陸海鮮汁」 | 盛岡アビリティセンター（盛岡市） |
| 県南：「花巻！純情やさいのピゼッタ」 | ちやい星が丘工房 |
| 沿岸：「金のなたねと銀のさば」 | カレー亭（宮古市） |

カ 農福連携マルシェの開催

- | | |
|--------|-------------|
| 開催回数 | 3回（開催日数5日間） |
| 出店事業所数 | 延べ23事業所 |
| 来場者数 | 1,354人 |
| 売上額 | 985,635円 |

⑤ 水産加工・障がい福祉マッチング事業 [福祉経営支援部]

ア 水産加工業の作業の中で、障がい福祉サービス事業所が請け負える作業の抽出
沿岸圏域の障がい者就労支援事業所を対象に、既に実施している作業のアンケート調査
38事業所中38事業所（回答率100%）

イ 障がい者雇用に関心のある水産加工業者の掘り起こし

(ア) 県出先機関への事業説明と、農林水産業者への事業周知の協力依頼

- | | |
|------------------|-------------------|
| 4月12日、沿岸広域振興局 | 4月12日、大船渡水産振興センター |
| 5月20日、県北広域振興局 | 7月9日、大船渡地域振興センター |
| 7月18日、宮古地域振興センター | |

(イ) 水産加工業者への事業周知

- 水産加工原料セミナーでの事業説明

8月6日、釜石大槌地区、参加10社	1月21日、宮古地区、参加15社
-------------------	------------------
- 各圏域の水産加工業者への訪問による事業説明

久慈圏域、訪問延べ8社	宮古圏域、訪問延べ23社
釜石圏域、訪問延べ18社	気仙圏域、訪問延べ31社

(ウ) 水産加工工場見学の受入調整

受入調整 2社 ※うち1社は、調整後、原材料の鮭が不漁のため見学受入れを延期

(エ) 作業委託の意向又は可能性がある農林水産業者への継続訪問

6社を継続して訪問

ウ 水産加工業の作業について請負を希望する障がい福祉サービス事業所の掘り起こし

沿岸圏域の障がい者就労支援事業所を対象に、水産加工業への関心と作業実績の有無を調査したところ、職員数や対応できる利用者が限られるため、施設内での作業を希望する事業所が大半であった。

関心あり：32事業所

作業実績あり：7事業所

エ 水産加工業者と障がい福祉サービス事業所が抱える課題の抽出と整理

水産加工業者や障がい福祉サービス事業所への訪問の際、各々が抱える課題をヒアリングにより抽出し、県復興局と共有。

オ イ及びウで掘り起こした水産加工業者と障がい者就労支援事業所とのマッチング

マッチング件数 3件

(2) 適正なサービス評価の実施

① 福祉サービス第三者評価事業 [\[福祉経営支援部\]](#)

岩手県福祉サービス第三者評価機関として、県内外の福祉施設の評価を実施したほか、評価者養成研修会等を実施した。

ア 第三者評価の実施

14事業所

高齢者施設4か所、障がい児(者)施設4か所、社会的養護関係施設5か所、保育所1か所

イ 会議の開催

合議の開催13回、決定委員会の開催13回

ウ 研修会の開催

(ア) 第三者評価調査者養成研修会(岩手県知事承認研修)

期日、会場、参加者：6月24日～26日、28日、岩手保健医療大学・キャラホール、9人

実習：各評価機関が実施する9月頃の訪問調査を現場実習とした。

研修修了：11月に総括を行い、全員に修了証を発行した。

(イ) 福祉施設の自己評価担当者研修会

期日、会場、参加者：6月24日、25日、岩手保健医療大学、54人

(ウ) 評価調査者スキルアップ研修・第三者評価研究会(評価調査者の会との共催研修)

<第1回(スキルアップ研修会)>

期日、会場、参加者：5月21日、ふれあいランド岩手、28人

<第2回(第三者評価研究会)>

期日、会場、参加者：10月19日、ふれあいランド岩手、17人

5 多様な組織等との連携協働

(1) 種別協議会・部会活動を通じた福祉サービス向上の取組とサービス利用者の福祉増進

① 社会福祉協議会部会事業 [地域福祉企画部]

ア 幹事会の開催

期日、会場：4月19日、2月20日、ふれあいランド岩手

イ 監査の実施

期日、会場：5月10日、ふれあいランド岩手

ウ 理事会の開催

期日、会場：5月10日、2月28日、ふれあいランド岩手

エ 総会の開催

期日、会場：3月9日、ふれあいランド岩手

オ 調査事業の実施

市町村社会福祉協議会役員名簿、社協の概要、市町村社協福祉サービス等実施状況調査報告書を作成

※ 懇談会及び研究会の開催、研修の実施等については3～4ページを参照

② 種別協議会活動推進事業 [福祉経営支援部]

ア 社会福祉法人経営者協議会

(ア) 会議の開催

a 総会

期日、会場：3月3日、ふれあいランド岩手

b 幹事会

期日、会場：4月24日、エスポワールいわて
2月12日、岩手県水産会館

(イ) 研修会の開催

a あんしんサポート相談員養成研修

期日、会場、参加者：7月1日、岩手保健医療大学、34人
2月6日、アイーナ、20人

内容：あんしんサポート相談員の養成

b 社会福祉法人経営セミナー

期日、会場、参加者：7月17日、アートホテル盛岡、139人
12月12日、アートホテル盛岡、113人

内容：制度動向を踏まえた社会福祉法人の経営支援等

c 生活困窮者支援研修会（あんしんサポート相談員スキルアップ研修会）

期日、会場、参加者：11月16日、マリオス、57人

内容：実践報告、講演等 ※ 岩手県社会福祉士会との共催

d 中長期経営計画策定セミナー

期日、会場、参加者：2月7日、ふれあいランド岩手、42人
内容：中長期経営計画策定に関する講義等

e 管理者セミナー

期日、会場、参加者：3月3日、ふれあいランド岩手、54人

内容：社会福祉法人を取り巻く環境と経営指針について

(ウ) 関係機関団体との連携

a 北海道・東北ブロック協議会会長会議

期日、会場：4月16日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
6月13日、TKP ガーデンシティ仙台
8月20日、TKP ガーデンシティ仙台
10月16日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
11月19日、TKP ガーデンシティ仙台
12月18日、TKP ガーデンシティ仙台
2月21日、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口

b 北海道・東北ブロック協議会会議

期日、会場：6月14日、TKP ガーデンシティ仙台

c 全国社会福祉施設経営者大会

期日、会場：9月12日、13日、とりぎん文化会館

d 北海道・東北ブロックセミナー

期日、会場：10月15日、16日、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

イ 高齢者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会（書面決議）

期日、会場：3月13日、

b 幹事会

期日、会場：5月24日、2月17日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の開催

a 令和元年度岩手県介護施設等合同入職式

期日、会場、参加者：5月10日、ホテルメトロポリタン盛岡、139人

b 岩手県高齢者福祉研究会

期日、会場、参加者：8月19日、ホテルメトロポリタン盛岡、266人
内容：基調講演、分科会

c 令和元年度いわて介護施設職員研修会

期日、会場、参加者：11月6日、7日、ホテルメトロポリタン盛岡、60人
内容：講演、行政説明、展示

d 令和元年度養護老人ホーム部会研修会

期日、会場、参加者：1月9日、ホテルメトロポリタン盛岡、37人
内容：講演

(ウ) 委員会の開催

a 制度政策委員会

期日、会場：7月5日、ふれあいランド岩手
内容：介護職員等特定処遇改善加算に関すること等

b 調査研究委員会

期日、会場：6月27日、ふれあいランド岩手
内容：令和元年度岩手県高齢者福祉研究会の開催について等

c 総務委員会

期日、会場：7月29日、ふれあいランド岩手
内容：今年度の取組について等

d 総務委員会広報会議

期日、会場：1月31日、ふれあいランド岩手
内容：合同広報紙「つながり Vol.22」の発行について

e 21世紀委員会

<第1回> 期日、会場：4月26日、アイーナ
内容：令和元年度介護施設等合同入職式について等

<第2回> 期日、会場：6月7日、アイーナ
内容：令和元年度いわて介護フォトコンテストについて等

<第3回> 期日、会場：8月23日、アイーナ
内容：令和元年度いわて介護フォトコンテストについて等

<第4回> 期日、会場：3月5日、ふれあいランド岩手
内容：今年度の振り返り及び来年度の取組について等

(エ) その他

防災会議

<第1回> 期日、会場：11月5日、ふれあいランド岩手
内容：令和元年台風第19号に伴う当会の対応について等

<第2回> 期日、会場：2月20日、ふれあいランド岩手
内容：WEB防災マップに係る運用規程について等

ウ 障がい者福祉協議会

(ア) 会議の開催

a 総会（書面決議）

b 幹事会

期日、会場：4月25日、ふれあいランド岩手 8月1日、エスポワール岩手
12月16日、ふれあいランド岩手 3月5日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の開催

a 東北地区知的障害者福祉協会専門研修会（虐待防止と権利擁護に関する研修会に位置付け共催）※共催負担金200,000円

期日、会場、参加者：9月26日、27日、アートホテル盛岡、153人
内容：話題提供「ご利用者本人の意思（思い）をどう受け止めている？」ほか

b 精神障がい者支援研修会の開催

期日、会場、参加者：11月29日、岩手県教育会館、50人
内容：講演「ひきこもりについて」ほか

c サービス管理責任者フォローアップ研修会

期日、会場、参加者：1月30日、ふれあいランド岩手、50人

- 内容：講演「福祉施設における人材育成・人材定着～浅岸和敬荘の取組～」ほか
- d グループホームの世話人を対象とした研修会の開催
期日、会場、参加者：10月30日、おしゃっち、25人
内容：講演「心の病について」ほか
- e 役職員研修会の開催
期日、会場、参加者：8月21日、22日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING、
115人
内容：講演「社会福祉法人の働き方改革」ほか
- f 研修参加費助成事業の実施
- ・対象事業：日本知的障害者福祉協会第8回全国生産活動・就労支援部会職員研修会
助成人数、助成額：3人、32,000円
 - ・対象事業：日本知的障害者福祉協会相談支援・就業支援セミナー
助成人数、助成額：1人、15,000円
 - ・対象事業：全国社会就労センター協議会工賃向上スタンダード研修
助成人数：0人
 - ・対象事業：日本知的障害者福祉協会全国児童発達支援施設運営協議会
助成人数：0人
- g 課題対応研修（新型コロナウイルスの影響により令和2年度に延期）
- (ウ) 委員会、部会の開催
- a 研修委員会
期日、会場：6月6日、ふれあいランド岩手
- b 調査研究員会
期日、会場：6月6日、7月18日、ふれあいランド岩手
- c 社会就労部会
- 【事業検討会】
期日、会場：5月27日、ふれあいランド岩手 7月9日、都南公民館
- 【接客力向上研修会】
期日、会場、参加者：11月5日、ふれあいランド岩手、40人
内容：販売員に求められる接客マナー
- 【HACCP制度対応研修会】（県社協及び知福協との共催）
期日、会場、参加者：10月15日、ふれあいランド岩手、21人、
10月17日、イーストピアみやこ、19人
内容：講演「衛生管理の基礎及びHACCP制度の概要」
- d 障がい児支援部会（知福協との共催）
期日、会場、参加者：10月21日、ふれあいランド岩手、62人
内容：行政説明「児童発達支援センターの役割と障害児入所の在り方」ほか
- e 障がい者生活支援部会（知福協との共催）
期日、会場、参加者：11月20日、イーストピアみやこ、62人
内容：講演「意思決定支援の取り組み・合理的配慮」ほか

(エ) 他団体等との連携

- a 東北地区社会就労センター協議会との連携

【第2回施設長連絡会議】

期日、会場：2月19日、20日、アートホテル盛岡

- b 全国社会就労センター協議会協議員総会との連携

【協議員総会】

期日、会場：5月14日、2月28日、全国社会福祉協議会

(オ) その他

- a 会員施設現況調査の実施

- d 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課との意見交換会の実施

期日、会場：8月1日、エスポワール岩手

内容：「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定実態調査について」ほか

- c 調査研究事業の実施

内容：「平成30年度障害福祉サービス等報酬改定に関する実態調査の実施」

報告書の発行：2月12日

- d 2019 ナイスハートバザール in いわての継続開催

期日、会場、参加施設：11月16日、17日、イオンモール盛岡、18施設

来客者数、売上総額：延べ718人、633,974円

- e 「2019 ナイスハートバザール in いわて」運営委員会

期日、会場：7月29日、10月18日、ふれあいランド岩手

- f ふれあいランド祭ふれあいマルシェでの販売

期日、会場、参加者施設：9月1日、ふれあいランド岩手、17施設

売上総額：1,007,896円

- g 働く利用者の集い（開催中止）

- h 台風第19号に伴う被災事業所への見舞金給付

対象施設、給付総額：5施設、250,000円

- i 災害時相互支援協定調印式

期日、会場：3月5日、ふれあいランド岩手

内容：調印「岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会ブロック協議会間協定、岩手県社会福祉協議会障がい者福祉協議会・岩手県知的障害者福祉協会団体間協定」

エ 保育協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会

期日：3月12日（書面議決）

- b 常任委員会

期日、会場：4月23日、5月28日、11月27日、2月27日、ふれあいランド岩手ほか

- c 正副会長会議

期日、会場：4月23日、11月27日、ふれあいランド岩手ほか

(イ) 研修会の開催

- a 岩手県保育研究大会
期日、会場、参加者：6月3日、4日、花巻温泉、405人
内容：分科会研究発表（4分科会24発表）、講演ほか
 - b 実技講習会
＜第1回＞ 期日、会場、参加者：10月21日、ふれあいランド岩手、12人
内容：子どもも大人も楽しく体を動かす～保育に役立てる3B体操～
＜第2回＞ 期日、会場、参加者：11月12日、陸前高田市コミュニティホール、3人
内容：子どもも大人も楽しく体を動かす～保育に役立てる3B体操～
 - c 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修（岩手ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）
期日：5月31日、6月1日、6月7日、6月8日
会場、参加者：岩手産業文化センター、岩手県立大学、全部修了者103人
 - d 岩手県指定マネジメント分野保育士等キャリアアップ研修（久慈ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）
期日：6月15日、6月22日、7月6日、7月13日、7月20日
会場、参加者：久慈市総合福祉センター、全部修了者32人、一部修了者3人
 - e 岩手県指定幼児教育分野保育士等キャリアアップ研修（花巻ブロック保育協／岩手県社協・保育協主催）
期日：9月6日、10月9日、11月24日
会場、参加者：花巻市立花巻幼稚園、花巻市生涯学園都市会館ほか、
全部修了者49人、一部修了者1人
 - f 「令和2年度保育研究大会」研究テーマ研修会
期日、会場、参加者：12月16日、ふれあいランド岩手103人
内容：発表原稿の作成及び発表の留意点についての講義、参考発表
- ※ 岩手県保育指導者セミナーの開催は中止

(ウ) 部会、委員会の開催

- a 保育所長部会
期日、会場、参加者：3月2日、アートホテル盛岡、40人
内容：講演
 - b 専門委員会（調査研究・制度政策）
期日、会場：5月28日、ふれあいランド岩手、11月27日、都南文化会館
内容：行政及び他機関との連携、広報作成、保育士等キャリアアップ研修等
- ※ 保育者部会の開催は中止

(エ) 他団体等との連携（北海道・東北ブロック保育協議会）

- a 研修会
＜北海道・東北ブロック保育指導者セミナー＞
期日、会場：4月25日、ザ・セレクトン福島（福島市）
内容：保育協分科会、保育士会分科会、情勢報告、講演ほか
＜北海道・東北ブロック保育研究大会＞

期日、会場、参加者：7月11日、12日、京王プラザホテル札幌（札幌市）

内容：行政説明、情勢報告、記念講演、分科会ほか

<北海道・東北ブロック公立保育所等トップセミナー>

期日、会場、参加者：10月1日、ホテルメトロポリタン山形（山形市）

内容：情勢報告、講演ほか

<北海道・東北ブロック次世代リーダー研修会>

期日、会場、参加者：1月16日、17日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

内容：情勢報告、講演ほか

<北海道・東北ブロック保育士会リーダーセミナー>

期日、会場、参加者：1月16日、17日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

内容：情勢報告、講演ほか

b 保育協議会会長会議

<第1回> 期日、会場：4月25日、ザ・セレクトン福島（福島市）

<第2回> 期日、会場：7月11日、京王プラザホテル札幌（札幌市）

<第3回> 期日、会場：1月16日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

c 保育士会長会議

<第1回> 期日、会場：4月25日、ザ・セレクトン福島（福島市）

<第2回> 期日、会場：7月11日、京王プラザホテル札幌（札幌市）

<第3回> 期日、会場：1月16日、ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

オ 児童福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

a 幹事会

期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手
3月23日（書面議決）

b 専門委員会

期日、会場：6月20日、ふれあいランド岩手
9月18日、アイーナ
10月29日、アイーナ

(イ) 会員情報ホームページの運営

ホームページによる施設情報の更新を行った。

(ウ) 県との意見情報交換会

期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手

(エ) 研修会の開催

a 児童福祉施設職員研修会

期日、会場、参加者：9月18日、アイーナ、20人

内容：児童福祉施設におけるリスクマネジメントと苦情対応について

b 施設間交流研修会 ※ 岩手県里親会と共催

期日、会場、参加者：11月15日、清光学園、24人

内容：施設見学、説明、昼食交流会、岩手県里親会による実践報告

- c 児童福祉のしごと出前講座
期日、会場、対応者：10月29日、盛岡医療福祉専門学校、50人
内容：児童福祉施設の仕事紹介、希望者への個別説明

(オ) 研修参加への助成

研修助成事業として、2施設（ことりさわ学園、みちのくみどり学園）に対し3万円を助成した。

カ 児童館・放課後児童クラブ協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：3月13日、書面議決
- b 幹事会
期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手
3月5日、書面議決
- c 正副会長会議
期日、会場：6月13日、ふれあいランド岩手
9月19日、ふれあいランド岩手
2月17日、ふれあいランド岩手
- d 館長等委員会、児童厚生員・放課後児童指導員等委員会
<第1回> 期日、会場：5月9日、ふれあいランド岩手
内容：令和元年度の事業推進等について
<第2回> 期日、会場：11月21日、ふれあいランド岩手
内容：岩手県児童館・放課後児童クラブ協議会会員施設現況調査について
- e 児童健全育成型ワーキンググループ
期日、5月9日、7月5日、ふれあいランド岩手
内容：ワーキンググループの検討課題・活動内容について
 - ・検討課題1 会員施設の共通課題及び要望の把握
 - ・検討課題2 児童健全育成の取組等児童館の役割についての情報発信

(イ) 研修会の開催

- a 児童健全育成関係者レベルアップ研修会
<第1回> 期日、会場：6月12日、盛岡市中央卸売市場
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「児童館論Ⅰ」、55人
特別講義「改正児童館ガイドラインを読み解く」、27人
<第2回> 期日、会場：12月20日、ふれあいランド岩手
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「集団援助活動」、60人
- b 児童館職員等研修会
期日、会場：11月14日、ふれあいランド岩手
内容、参加者：児童厚生二級認定科目「ゲーム・運動遊び」、61人
児童厚生二級認定科目「児童館論Ⅱ」、74人
- c 実技研修会

期日、会場：9月25日、ふれあいランド岩手

内容、参加者：児童厚生二級認定科目「表現活動」、56人

(ウ) 助成事業の実施

各ブロック協議会活動助成

助成金額：74,000円（10ブロックへ1,000円×74施設数を助成）

(エ) いわて子どもあそび隊の活動

現地の訪問活動（4回）、あそびにコンビニ出展（7回）、おうえん隊活動（1回）、札幌児童会館との交流会（1回）及び札幌児童会館からのあそびのキット贈呈（5か所）

(2) 多様な組織等との連携協働の推進

① 事務受託団体支援事業

[総務部・地域福祉企画部・福祉経営支援部・福祉人材研修部]

ア 公益財団法人岩手県福祉基金

令和元年度事業計画に基づき31件、7,201千円の助成を行ったほか、企業等から17件1,142,190円の寄付を基本財産に組み入れ、基本財産は1,138,698,666円となった。

[助成の内訳]

助成区分	件数	金額（千円）
1－① 社会福祉団体活動に対する助成	30件	6,773
1－② 社会福祉団体活動に対する助成(特別助成事業)	1件	428
2 社会福祉施設整備事業に関する助成	0件	0
3 社会福祉従事者研修事業に対する助成	0件	0
4 社会福祉の啓発及び顕彰事業に対する助成	0件	0
計	31件	7,201

イ 岩手県里親会

(ア) 会議の開催

a 理事会

<第1回> 期日、会場：5月21日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：12月7日、マリオス

<第3回> 期日、会場：3月26日、ふれあいランド岩手

b 監査

期日、会場：5月21日、ふれあいランド岩手

c 正副会長会議

<第1回> 期日、会場：4月8日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：6月11日、岩手県福祉総合相談センター

<第3回> 期日、会場：9月17日、岩手県福祉総合相談センター

<第4回> 期日、会場：11月18日、ふれあいランド岩手

<第5回> 期日、会場：3月9日、ふれあいランド岩手

(イ) 岩手県里親大会の開催

期日、会場、参加者：10月6日、ふれあいランド岩手、162人

内容：岩手県知事感謝状贈呈、岩手県里親会会長表彰、体験発表
講演「やってみよう！おてて絵本 ～おててから“心”がみえてくる」
講師 絵本作家サトシン

(ウ) 未委託里親交流研修会

期日、会場、参加者：9月29日、和光学園、18人

内容：施設見学、入所児童とのレクリエーション、未委託里親情報交換会

(エ) 岩手県里親会里親交流研修会

期日、会場、参加者：12月7日、マリオス、45人

内容：講義「アンガーマネジメント～怒りと上手に付き合うために～」ほか

(オ) 広報紙の発行

「いわて里親通信（ニュースレター）」（7月・11月）

「里親いわて第44号」の発行（300部）（3月）

(オ) 表彰の実施

- ・全国里親大会表彰（2組4人）
- ・東北地区里親会連絡協議会長表彰（7組13人）
- ・岩手県社会福祉大会長表彰（3組6人）
- ・岩手県知事感謝状（7組11人）
- ・岩手県里親会会長表彰（7組11人）

(カ) 親族里親等支援事業（県委託事業）

a 里親サロン

期日、会場：5月～2月 全14回、青葉ビル（釜石市）ほか

支援会員派遣人数：48人

延べ参加者数：42組46人

b 3地区合同交流研修会

期日、会場、参加者：8月24日、青葉ビル、22組25人

内容：講義「東日本大震災と私と子ども」ほか

(キ) 里親制度普及啓発キャンペーン

期日、会場：10月4日、イオンモール盛岡センターコート、8人

内容：「里親の日」チラシ配布

(ク) 東北地区里親会連絡協議会理事会（東北地区里親会事業）

期日、会場：10月11日、東北福祉大学（宮城県）

ウ 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会

(ア) 会議の開催

a 総会【書面議決】

期日、会場：3月10日、ふれあいランド岩手

b 理事会

期日、会場：5月20日、ふれあいランド岩手 2月28日、岩手県公会堂

c 正副会長会議

期日、会場：2月28日、岩手県公会堂

- d 監査
期日、会場：5月20日、ふれあいランド岩手
- e 調査研究委員会
期日、会場：5月20日、7月10日、11月7日、ふれあいランド岩手
- f 広報地区支援委員会
期日、会場：5月20日、ふれあいランド岩手
- g 研修委員会
期日、会場：5月20日、7月19日、1月27日、ふれあいランド岩手

(イ) 東日本大震災被災地への支援

岩手県災害福祉広域推進機構の構成団体として、研修会の周知、被災地支援体制に協力

(ウ) 調査研究活動

岩手県内各市町村における地域包括支援センターの活動状況の把握を目的とし、県内 33 市町村を対象に調査を実施し、全市町村から回答

(エ) 研修活動

- a 令和元年度岩手県地域包括・在宅介護支援センターフォーラム
期日、会場、参加者：10月25日、ふれあいランド岩手 63人
内容：講義「コミュニティデザイン 地域で長く楽しく暮らす」ほか、パネルディスカッション
- b 令和元年度地域包括・在宅介護支援センター職員研修会
期日、会場、参加者：12月11日、ビッグルーフ滝沢、74人
内容：講演「在宅医療の現状と介護支援専門員との連携～自宅で最後まで暮らしていただくために～」ほか

(オ) その他

- a 広報活動
 - ・岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会ホームページを活用した情報提供
 - ・広報発行「広報つながり vol.22」 高齢協合同発行
- b 地区協議会活動の推進
5つの地区協議会の活動のために活動費 200,000 円を交付

エ 岩手県知的障害者福祉協会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：5月17日、ふれあいランド岩手
- b 監査
期日、会場：4月23日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
期日、会場：4月23日、ふれあいランド岩手 5月28日、ふれあいランド岩手
12月10日、ふれあいランド岩手 3月24日、アートホテル盛岡
- d 正副会長会議
期日、会場：6月24日、2月14日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修・指導

- a 東北地区専門研修会（中堅職員研修会に位置付け開催）
期日、会場、参加者：9月26日、27日、アートホテル盛岡、153人
内容：話題提供「ご利用者本人の意思（思い）をどう受け止めている？」ほか
- b 岩手県知的障害者施設職員研修大会
期日、会場、参加者：1月17日、ふれあいランド岩手、102人
内容：記念講演「重症心身障害児・者の医療・療育の変遷」ほか
- c 新任職員研修会
期日、会場、参加者：7月30日、31日、花巻温泉峡渡り温泉さつき、63人
内容：発表「先輩職員からのメッセージ」ほか

(ウ) 部会等の開催

- a 部会及び支援スタッフ委員会連絡会議（施設長等研修会として開催）
期日、会場、参加者：5月17日、ふれあいランド岩手、51人
内容：講演「組織における人材育成の取組～組織人・福祉専門職の育成に向けて～」
- b 各部会の開催
 - ・児童発達支援部会（障がい協との共催）
期日、会場、参加者：10月21日、ふれあいランド岩手、62人
内容：行政説明「児童発達支援センターの役割と障害児入所の在り方」
 - ・障害者支援施設部会、日中活動支援部会、地域支援部会（人権・倫理委員会及び3部会合同での開催）
期日、会場、参加者：11月20日、イーストピアみやこ、20人
内容：講演「意思決定支援の取り組み・合理的配慮」ほか
 - ・生産活動・就労支援部会（県社協及び障がい協との共催）
期日、会場、参加者：10月15日、ふれあいランド岩手、21人
10月17日、イーストピアみやこ、19人
内容：講演「衛生管理の基礎及びHACCP制度の概要」
 - ・相談支援部会（岩手県内相談支援事業所運営状況調査の実施）
- c 支援スタッフ委員会
 - ・研修会
期日、会場、参加者：2月13日、ふれあいランド岩手、25人
内容：発表「All for one～もう一度考える、自分たちの仕事～」ほか
 - ・スポーツ交流会の運営
期日、会場：10月26日、紫波町総合体育館

(エ) 委員会

- a 人権・倫理委員会
期日、会場：6月24日、ふれあいランド岩手
- b 危機管理委員会
期日、会場：6月24日、ふれあいランド岩手
- c 研修・事業委員会

期日、会場：5月28日、8月26日、ふれあいランド岩手

(オ) 他団体等の連携

- a 岩手県保健福祉部障がい保健福祉課と障がい者関係団体との意見交換会への出席
- b 日本知的障害者福祉協会との連携・協力
- c 東北地区知的障害者福祉協会との連携・協力

(カ) その他

- a 会員施設状況調査の実施
- b その他各種調査・研究
 - ・岩手県保健福祉部障がい保健福祉課との意見交換会に係る意見集約
 - ・東北地区知的障害者福祉協会人権擁護に関する職員組織アンケートの実施
 - ・東北地区知的障害者福祉協会次期報酬改定に向けた意見聴取に係る意見集約
- c 広報・機関紙「県知福協ニュース」の発行（1回）
- d 職員研修費助成事業
助成人数、助成総額：3人、195,716円
- e 第23回スポーツ交流会
期日、会場、参加者：10月26日、紫波町総合体育館、212人
- f 台風第15号及び第19号における被災施設等に対する支援(義援金募集)
募集期間、義援金総額：11月13日～29日、193,328円
- g 岩手県知的障害児者サポート協会
会員数：2,020人
会員交流事業等助成事業：1団体へ総額15,000円を助成

オ 東北地区社会就労センター協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場、出席者：6月3日、4日、ホテル福島グリーンパレス（福島市）、33事業所
内容：議事、基調講演「社会就労センターを取り巻く状況と今後の見通しについて」
ほか
- b 監査
期日、会場：5月13日、ふれあいランド岩手
- c 役員会
期日、会場：6月3日、ホテル福島グリーンパレス（福島市）
9月11日、弘前プラザホテル（弘前市）
2月19日、アートホテル盛岡

(イ) 研修会等の開催

- a 施設長連絡会議
 - <第1回> 期日、会場、参加者：9月4日、5日、弘前プラザホテル（弘前市）、32人
内容：話題提供、グループ討議ほか
 - <第2回> 期日、会場、参加者：2月19日、20日、ホテルルイズ、33人
内容：情勢報告、グループ討議ほか

- b 職員研修会
 - ・研修委員会
期日、会場：7月1日、秋田県社会福祉会館（秋田市）
 - ・職員研修会
期日、会場、参加者：10月8日、9日、秋田県社会福祉会館（秋田市）、47人
内容：基調講演「社会就労センター職員に求められる視点」ほか

(ウ) その他

機関紙「とうほくセルブ協通信」の発行

カ 東北ブロック老人福祉施設協議会

(ア) 会議の開催

- a 総会
期日、会場：5月16日、TKP ガーデンシティ仙台（仙台市）
- b 監査
期日、会場：4月18日、ふれあいランド岩手
- c 理事会
 - <第1回> 期日、会場：4月19日、ふれあいランド岩手
 - <第2回> 期日、会場：5月15日、TKP ガーデンシティ仙台（仙台市）
- d 常任理事会
 - <第1回> 期日、会場：5月15日、TKP ガーデンシティ仙台（仙台市）
 - <第2回> 期日、会場：9月6日、江陽グランドホテル（仙台市）
 - <第3回> 期日、会場：12月5日、秋田キャッスルホテル（秋田市）
- e 養護老人ホーム委員会
 - <第1回> 期日、会場：9月25日、ホテルメトロポリタン盛岡
 - <第2回> 期日、会場：2月6日、ホテルメトロポリタン盛岡
- f 軽費老人ホーム・ケアハウス委員会
期日、会場：2月27日、ホテルメトロポリタン盛岡

(イ) 研修会等の開催

- a 東北ブロック老人福祉施設大会（三大事業）
期日、会場、参加者：5月16日、17日、TKP ガーデンシティ仙台（仙台市）、234人
内容：基調報告、記念講演ほか
- b 東北ブロック老人福祉施設研究会（三大事業）
期日、会場、参加者：9月5日、6日、江陽グランドホテル（仙台市）、495人
内容：基調報告、記念講演、分科会（6分科会）ほか
- c カントリーミーティング東北 in 秋田（三大事業）
期日、会場、参加者：12月5日、6日、秋田キャッスルホテル（秋田市）、185人
内容：情勢報告、講演ほか
- d 令和元年度東北ブロックカントリーミーティング in 秋田 各県・市 21世紀委員長合同
会議
期日、会場、参加者：9月10日、秋田キャッスルホテル（秋田市）、17人

内容：カンントリーミーティング in 秋田の運営について

キ 一般社団法人岩手県介護福祉士会

(ア) 会務運営

a 定時総会

期日、会場、参加者：5月25日、ふれあいランド岩手、21人（委任状228通）

内容：平成30年度事業報告・決算、令和元年度事業計画・予算について

b 正副会長会議

<第1回> 期日、会場：7月25日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：3月24日、ふれあいランド岩手

c 理事会

<第1回> 期日、会場：5月25日、ふれあいランド岩手

<第2回> 期日、会場：8月25日、ふれあいランド岩手

<第3回> 期日、会場：3月29日、ふれあいランド岩手

d 監査

期日、会場：4月28日、ふれあいランド岩手

e 広報紙「かいご通信」の発行：1回（2月）

(イ) 研修会の実施

a 岩手県社会福祉士会との合同研修会

期日、会場、参加者：5月25日、ふれあいランド岩手、21人（当会会員）

研修会：「司法からの福祉職・介護職に期待するもの～地域の生活・福祉的課題への司法的関与と支援～」

b 介護福祉士基本研修

期日、会場、参加者：8月23日、26日、9月9日、13日、ふれあいランド岩手、7人

c 実習指導者特別講習会

期日、会場、参加者：11月21日、22日、12月5日、6日、ふれあいランド岩手、36人

d 介護福祉士国家試験受験対策筆記模擬試験

期日、会場、参加者：12月2日、ふれあいランド岩手、26人

e 介護職種の技能実習指導員講習会

期日、会場、参加者：12月17日、ふれあいランド岩手、47人

f 新カリキュラム対応介護実習指導研修

期日、会場、参加者：1月23日、ふれあいランド岩手、39人

g 倫理・災害ボランティア・現任者研修

期日、会場、参加者：2月1日、ふれあいランド岩手

内容：「倫理が揺らいでいるからこそ倫理の原点に」参加者：19人

「災害時の介護福祉士のあり方」参加者：21人

「拘縮の緩和方法と拘縮のある方の移乗について」参加者：33人

h 第5回介護福祉士研修会（岩手県立大学社会福祉学部との共催）

期日、会場：2月9日、マリオス

内容：「生活支援の場のターミナルケア～介護施設で死ぬということ～」

- i 令和元年度北海道・東北ブロック大会 in 岩手
期日、会場、参加者：9月28日、アイーナ、63人
内容：厚生労働省行政説明「介護人材と介護福祉士の役割」
基調講演「辞めない職場作り～職場を僕らの遊び場に～」
シンポジウム「外国人介護人材の受入れについて」

- J お悩みホットライン
期日、会場、参加者：毎月第2土曜日

- k 「介護の日フェスタ」の開催
期日、会場、参加者：11月10日、イオンモール盛岡南、約900人
内容：介護の日チラシとオリジナルクリアファイルの配布、介護福祉士会員お手製バ
ルーンアートプレゼント、介護の写真展示コーナー、福祉用具&介護機器展示コ
ーナー、「介護のこと」相談コーナー、介助犬ぼくたちのお仕事紹介コーナー、
岩手県介護福祉士養成施設協会による養成校のパンフレット配布、「かいごの作
文」入賞作品展示、高齢者疑似体験

ク 岩手県介護支援専門員協会

(ア) 会務運営

- a 定時総会
期日、会場、参加者：6月15日、岩手県産業会館、157人（委任状1,566通）
内容：平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算について
- b 理事会
＜第1回＞ 期日、会場：6月15日、岩手県産業会館
＜第2回＞ 期日、会場：3月27日、アイーナ
- c 役員会
＜第1回＞ 期日、会場：4月26日、アートホテル盛岡
＜第2回＞ 期日、会場：1月29日、アイーナ
- d 監査
期日、会場：5月29日、ふれあいランド岩手

(イ) 研修会の実施

- a 定例研修会
＜第1回＞ 期日、会場、参加者：6月15日、岩手教育会館、200人
内容：説明Ⅰ「地域包括ケアシステムの推進における栄養ケアマネジメン
トの理解と協働について」
講演「居宅介護支援事業所ケアマネジメント実務の手引き・認知症
対応型共同生活介護に関わる介護支援専門員のための手引きにつ
いて」
講演「地域包括ケアの推進に向けた制度改正の動向と介護支援専門
員に期待される役割—多職種協働、地域資源活用による課題解決力
の向上—」

※第2回（3月27日）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

- b 令和元年度在宅医療人材育成研修事業（3地区で開催）

期日、会場、参加者：10月17日、ホテルグランシェール花巻、62人

11月10日、ベリーノホテル一関、90人

※釜石地区での開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ケ 岩手県ホームヘルパー協議会

(ア) 会務運営

- a 監査

期日、会場：6月6日、ふれあいランド岩手

内容：平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算、財産の管理状況

- b 総会

期日、会場、参加者：6月13日、ふれあいランド岩手16人（委任状39通）

内容：平成30年度事業報告・収支決算、令和元年度事業計画・収支予算、諸規程の一部改正

- c 理事会

期日、会場：3月28日、盛岡駅西口ヘルパーステーション

内容：令和元年度事業実施状況・収支状況、令和2年度セミナー・研修内容検討、令和2年度事業計画・収支予算、令和2年度役員改選

(イ) 研修会の実施

- a 岩手県ホームヘルパー協議会ホームヘルプセミナー

期日、会場、参加者：6月13日、ふれあいランド岩手、28人

内容：「看取りについて考える」「岩手県における特殊詐欺の現状と防止協力依頼」

- b 現任者研修会

<第1回> 期日、会場、参加者：9月30日、ふれあいランド岩手、31人

内容：①認知症の理解とその対応について ②生前整理講座

<第2回> 期日、会場、参加者：10月29日、北日本医療福祉専門学校、16人

内容：介護技術の基本

※第3回調理実習は11月19日の開催を案内後、台風第19号災害の影響で延期。その後、3月17日の開催を案内したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

6 指定管理施設の管理運営

(1) ふれあいランド岩手の管理運営 [ふれあいランド岩手]

① 施設の利用状況

本年度の施設利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月に施設の利用停止及び制限を行ったこと等の影響により、228,966人と年間目標を下回った。平成6年の開館からの累計利用者数は5,484,671人となった。

ア 施設区分別利用状況

(単位：人)

区分	文化施設	スポーツ施設	合計
----	------	--------	----

本年度	54,161	174,805	228,966
開館からの累計	1,464,176	4,020,495	5,484,671

イ 利用者区分別利用状況 (単位：人)

区 分	障がい者	介護者	高齢者	学生等	一般	ボランティア	幼児
本年度	23,054	4,394	93,957	30,659	65,392	1,739	9,771
累 計	503,025	85,888	1,426,606	949,623	2,299,560	50,641	169,328

② 教室等の開催状況

障がい者や高齢者等を中心としたスポーツ教室、文化教室を開催した。

ア スポーツ教室

障がい者の身体機能の向上を目的とした「リハビリ&水中歩行教室」など 10 のスポーツ教室を延べ 245 回開催し、4,915 人の利用者が参加した。

イ 文化教室

高齢者や障がい者等、受講者間の交流を目的とした「ものづくり教室」など 4 の文化教室を延べ 26 回開催し、521 人が参加した。

③ 各種イベントの開催状況

ふれあいランド岩手の利用者、地域住民との交流を促進するため、利用団体、地元自治会などの協力を得て、各種イベントを開催した。

イベント名	開催日	参加者数
ちびっこフェスタ 2019	5 月 5 日	234 人
さまちやれランド 2019	7 月 29 日～31 日	2,223 人
ふれあいランド祭 2019	9 月 1 日	21,435 人
健康測定会	9 月 15 日	111 人
ふれあいスポーツフォーラム	12 月 22 日	35 人
さわやか交流水泳記録会	1 月 25 日	58 人
体組成分測定会	2 月 27 日	114 人

④ 各種支援事業等の実施状況

地域と連携し、障がい者や高齢者への運動指導に携わる指導者に指導のノウハウを伝えるとともに、障がい者や高齢者等の利用者を対象として運動指導を実施した。また、スポーツ教室並びに文化教室の修了者などによって結成された自主サークルの育成及び活動の支援に努めた。

- ・スポーツネットワーク事業 延べ 55 回 参加者 1,729 人
- ・リハビリテーション&スポーツ指導等の集団指導 延べ 212 回 参加者 4,135 人
個別指導 延べ 754 回 参加者 887 人
- ・小学生等の福祉体験協力支援 6 回 参加者 320 人

⑤ ボランティアの養成等

「初心者手話教室」(10 回開催、延べ 116 人参加) や「ワンポイント手話教室」(4 回開催、延

べ 48 人参加) を開催するとともに、各種ボランティア団体の活動の場を提供するなど、その育成・支援に努めた。

⑥ 利用者・団体等のニーズの把握

利用者のニーズを把握し、施設運営等に資するため、施設内に「意見・提言ボックス」を設置するとともに、地域住民や利用者、入居福祉団体の役職員等を構成員とする「地域懇談会」、「利用促進検討委員会」、「入居団体連絡会議」を開催し、施設の利用促進や連絡調整を図った。

また、プールシャワーのマナーに関するアンケート調査を実施した。

7 県社協の活動基盤の強化

(1) 県社協財政基盤の適正化 [総務部]

① 自主財源の確保

企業、団体 (494 か所) 及び病院 (1,192 か所) に対し協賛金の協力を呼びかけるなどして自主財源の確保に努めた。

・入金実績 : 329 件 3,634 千円 (前年度 : 225 件 2,461 千円)

② 経費の削減

見積り合わせの徹底などによる事務諸費 (消耗品費、コピー機使用料、光熱水費、車輛燃料費、通信運搬費、P C 等事務機器賃借料等) の削減に努めた。

・事務諸費総額 46,728 千円 (対前年度 705 千円減 1.5%減)

(2) 組織強化のための取組の推進 [総務部]

① 会計監査人の設置

会計監査人を設置して期中監査を受けるなどしてガバナンスの強化に努めた。

② 税理士等への業務委託

税理士や社会保険労務士等の専門家への業務委託の検討と個別業務においては適宜相談を行った。

③ 職員の育成

職員研修計画に基づき職員研修を実施するとともに、社会福祉士等資格取得を奨励し職員の資質向上を図った。(社会福祉士資格取得 : 1 人)

④ 会員の拡大

新施設等に対し会員加入を呼びかけ、会員の拡大を図った。(新規加入 14 施設法人)

8 会務の運営

(1) 理事会の開催 [総務部]

- <第1回> 開催日：6月6日
議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
平成30年度事業報告について
平成30年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
令和元年度一般会計の補正予算について
諸規程の一部改正について
評議員候補者の推薦について
評議員選任・解任委員会の招集について
理事、監事及び会計監査人候補者の推薦について
評議員会の招集について
顧問の委嘱について
- <第2回> 開催日：6月27日
議案：会長、副会長及び専務理事の選定について
会計監査人の報酬について
- <第3回> 開催日：8月20日（決議の省略）
議案：ふれあいランド岩手指定管理者への申請について
- <第4回> 開催日：3月12日
議案：岩手県社会福祉協議会会員の退会について
令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計の補正予算について
令和2年度事業計画について
令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算について
諸規程の一部改正について
評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催 [総務部]

- <第1回> 開催日：6月27日
議案：平成30年度事業報告について
平成30年度一般会計及び生活福祉資金会計の収支決算について
定款施行細則の一部改正について
理事、監事及び会計監査人の選任について
令和元年度一般会計の補正予算について
- <第2回> 開催日：3月24日（決議の省略）
議案：令和元年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算の補正について
令和2年度事業計画について
令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計の予算について

(3) 監事等による監査の実施 [総務部]

① 監事監査及び出納調査

- <第1回> 実施日：6月4日

内 容：平成 30 年度第 4 四半期の出納調査及び決算監査
各会計における資金の管理運用の状況
平成 30 年度事業について
平成 30 年度収支決算について

<第 2 回> 実施日：9 月 25 日

内 容：第 1 四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

<第 3 回> 実施日：11 月 15 日

内 容：第 2 四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

<第 4 回> 実施日：2 月 27 日

内 容：第 3 四半期の出納調査
各会計における資金の管理運用の状況

② 会計監査人による監査

<予備調査> 実施日：6 月 24、25 日

<期中監査> 実施日：7 月 22、23 日、10 月 30、31 日、2 月 20、21 日、3 月 26、27 日

③ 内部監査

内部牽制体制を強化することを目的に、本会経理規程第 72 条に基づき、内部監査人 4 人を選任し内部監査を実施

監査項目：・小口現金、寄付金の状況 ・資産管理の状況 ・伝票と証拠書類の照合
・通帳と伝票の照合（残高証明との照合含む） ・契約に関する書類確認
・その他、適宜監査の必要があるもの

実施日：9 月 18 日、11 月 12 日、2 月 25 日

9 その他

(1) 岩手県社会福祉大会の開催 [地域福祉企画部]

期日、会場、参加者：11 月 1 日(金)、岩手県民会館大ホール、約 1,200 人

被表彰者数：378 人、36 団体、3 組、2 地区

岩手県知事表彰（31 人、3 団体）

岩手県知事感謝状（8 人）

岩手県社会福祉大会会長表彰（211 人、33 団体、3 組）

岩手県社会福祉大会会長褒賞（44 人）

岩手県民生児童委員協議会会長表彰（84 人、2 地区）

記念講演：「宮沢賢治とごちゃまぜ社会」

講師：雄谷 良成 氏（石川県、社会福祉法人佛子園理事長）